



那覇市市勢要覧2023

# 新ランドマーク誕生

～第一牧志公設市場リニューアル～



## 市長あいさつ



那覇市長  
知念 覚

はいさい ぐすーよー ちゅうがなびら。  
長年、市民・県民の台所として親しまれ、また、那覇の観光スポットとして人気の第一牧志公設市場が、新しく生まれ変わりました。

新市場は、新しくもどこか懐かしく、相対売りなど、昔ながらの良さも存分に感じることができますので、是非一度、お立ち寄りいただき、なふぁの魅力をご堪能ください。

さて、今回の市勢要覧では、本市の新たなランドマークとなる第一牧志公設市場と、その周辺を中心商店街を沖縄尚学高等学校地域研究部の生徒のみなさんが紹介した記事を掲載しています。

生徒たちも期待している中心商店街の活性化をはじめ、今後とも、活気に満ち溢れ、笑顔があふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

ゆたさるぐとううにげーさびら

## 目次

市長あいさつ	1ページ
第一牧志公設市場リニューアルオープン	2ページ
見ていく？なはまちふらっと寄り道ダイジェスト	4ページ
未来への視点 アプローチ まちの「仕次ぎ」	11ページ
5つのめざすまちの姿	12ページ
○多様なつながりで共に助け合い、認め合う安全安心に暮らせるまちNAHA	13ページ
○互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまちNAHA	14ページ
○次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る 誇りあるまちNAHA	15ページ
○ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまちNAHA	16ページ
○自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまちNAHA	17ページ
姉妹都市・友好都市・交流連携都市	18ページ
那覇のイベント	19ページ
位置と市域 市のシンボル	20ページ
市歌	21ページ
指定文化財一覧	22ページ
データで見る那覇	23ページ

# 新

3.19SUN リニューアルオープン

## 那覇市第一牧志公設市場

### 新しい市場へめんそ〜れ〜

市民・県民の台所として親しまれてきた「第一牧志公設市場」が新しくなり、令和5年3月19日に供用開始しました。

第一牧志公設市場は、1950年に開設し、1972年の建て替えを経て、長年、市民・県民はもちろん、県外、海外の観光客も訪れる観光地として人気を集めていました。建物の老朽化が進み、施設利用者の安全確保やバリアフリーの向上、衛生環境の改善を目的に2019年に取り壊されて以来、新市場の建設が進んでいました。

新たな第一牧志公設市場は、地下1階、地上3階の建物で延床面積4,980.81㎡。1階は精肉、鮮魚などの店舗、2階は食堂となっており、旧市場と同様に1階で購入した食材を2階で調理してもらう「持ち上げ」スタイルは継承されています。3階には、来場者も利用できる多目的室と調理体験室を新たに備えています。

3月19日のセレモニーには、オープンを待ち望んでいた市民や観光客が通りを埋め尽くし、開場と同時に買い物をする人で市場内は活気で溢れていました。

みなさまもぜひ、市民・県民の台所、第一牧志公設市場へお越しください。



オープン当日は、第一牧志公設市場  
リニューアルを心待ちにしていた  
多くの方々に盛り上がりました！



いーやーさーさー  
はーいやー！



めんそーりよー



# 見ていく？なはまちふらっと寄り道

## —ダイジェスト—

沖縄尚学高等学校地域研究部のみなさんは、国際通りや平和通りなどの中心商店街に地元

客を呼び戻したいとの思いを、『まちもどし』と名付け活動しています。

『まちもどし』の活動が評価され、令和3年には、公益財団法人あしたの日本を創る協会などが共催する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」を受賞しました。

この活動を市民にしてもらえるよう、広報なは市民の友で令和4年5月号から令和5年4月号で連絡した「見ていく？なはまちふらっと寄り道」を掲載します。

## 沖映通り



昭和31年頃のガープ川。右奥の建物は沖映館。



上写真の同じ位置から見た現在の沖映通り。

**沖映通りヒストリー**  
初回となる今月は、沖映通りを紹介いたします。沖映通りの名前の由来を調べてみました。第二次世界大戦後の昭和22年、ガープ川のそばに沖映本館という映画館が建てられました。映画館の創設者がガープ川に自費で橋をかけたたり、映画館が沖縄芝居劇場になったりと、長年、地域に親しまれました。昭和42年にはガープ川の上に蓋（ふた）をし暗渠（あんきよ）となつて道路ができました。その通りの名前を一般公募で募り、「沖映通り」が誕生しました。

「こんにはー私たちは沖縄尚学高校の地域研究部です。なはまち（那覇の中心商店街）へ市民や県民に来訪してもらつ『まちもどし活動』をはじめて五年目になります。なはまちに実際に足を運んで通りや街並みの雰囲気を感じてほしいという願いを込めて、タイトルを考えました。一年間、なはまちの魅力を発信していきますので、よろしくお願ひします！」



高校生発案の新連載がスタート！



見ていく？なはまちふらっと寄り道

ふらっと！沖映通り

沖映通りのここに注目

沖映通りには、昔ながらのお菓子屋さんから若者に人気のタピオカ屋さん、楽器店や大型書店などがあり、幅広い年代の方が訪れる通りです。私たちが実際に歩いて注目したのは、なはーと開館のフラッグがなびく街路灯です。番号順に並んでいるのですが、4・9・13番はないので待ち合わせには使わないでください！

また、この街路灯には有名人の手形があることをご存知でしたか？女優の国仲涼子さんや歌手のMAXさんなどの手形があるので、ぜひ手を合わせてみてください！

何気なく通っている道でも、意識してみれば新しい発見があつて楽しいですよ。



沖映通りの達人にインタビュー

沖映通り会事務局のオレンジマンこと萩原雄三さんに、沖映通りの魅力を聞きました。「沖映通りは『文化を発信する』というビジョンを持って、店舗や銀行で落語やフラシツコンサートなどを開催しています。今年には沖縄芸人の漫才イベントを新たに企画中です」と語ってください。通り会の連帯を感じることができました。今と昔が混在する沖映通りは、お店の方々の団結力が魅力の源なのかもしれませんね。



取材▼沖縄尚学高等学校 宮良華歩

# 平和通り

高校生  
発案連載



見ていく? なはまち  
ふらっと 寄り道

ふらっと2  
平和通り

こんにちはーなはまち（那覇の中心商店街）へ市民や県民に來訪してもらおう「まちもどし」活動5年目の沖繩尚学高校地域研究部です。地域研究部の他の取り組みで、4月に修学旅行で來ていた広島県の高校生と一緒に沖繩戦の「白梅学徒隊」についてフィールドワークをしました。

さて、今日は昔ながらの商店街の雰囲気も色濃く残している長〜い「平和通り」を紹介したいと思います。

## 平和通りの歴史

平和通りの名前の由来は「平和館」と言われる映画館にちなんでつけられ、長年マチグワの代名詞としても市民に使われていたそうです。40年前にお店の方々がお金を出し合ってアーケードが作られ、雨も暑さもしのげる通りとなりました。数多くのイベントも実施されています、今はコロナ禍でお休みしていますが、ハロウィンイベントは20年以上も続いています。子どもの頃に仮装してお菓子をもらった人たちは沢山いることでしょう。その頃を思い出して歩いてみるのも楽しそうですね。

## 平和通りの魅力!

平和通りは観光客向けのお土産屋さんの他に、衣料・雑貨・菓子・骨董品のお店、定番沖縄食堂・レトロな喫茶店・多国籍料理など色んな種類の飲食店が並びます。婦人服店も多く、地元のおばちゃんたちがアーケードの中で楽しそうにゆんたくしていました。アーケードの支柱には全てに番号が付いており、待ち合わせ場所にも便利です。



そうそう、他の通りやテンプス館や桜坂劇場に抜ける道も沢山あるので、ぜひ探検してみてください!

## 地元の温かさがある通り

平和通り会理事の言納正吉さんと矢野弘子さんに平和通りの魅力について聞いてみました!

「昔から日常のおしゃべりの場で、今も多くの人が交流する場」と地元の温かみを感じることができると教えてくれました。2月末で閉場した公設市場衣料部・雑貨部については「長年通りを一緒に盛り上げてきた市場が閉場したのには残念。今は市場の前のスペースで懐かしい写真や顔出しパネルを設置していますよ」とお話を伺いました。



ぜひ皆さんも平和通りの温かさを感じに来てみてください。

昔にタイムスリップ!?  
色々な顔出しパネルがあるので、ぜひ試してみてください。



取材▼沖繩尚学高等学校 山本琉斗

# 国際通り

高校生  
発案連載



見ていく? なはまち  
ふらっと 寄り道

ふらっと3  
国際通り

こんにちはー私たちは沖繩尚学高校の地域研究部です。なはまち（那覇の中心商店街）へ市民や県民に來訪してもらおう「まちもどし」活動をスタートして、今年で5年目になります。他にも地域研究部全体の取り組みでは、男子はエイサー、女子は海外の伝統舞踊を週2回練習しています。昨年はコロナ禍で披露する場が少なかったのですが、今年はより多くの場で踊りたいと思っています!

さて、今年も暑い夏がやって來ましたが、みなさんは夏の計画を立てていますか?夏といえば友達や家族とお出かけする時間が増えると思います。ということで、今日は多くの観光客や地元客に愛される国際通りを紹介していきます!

## 国際通りの歴史

太平洋戦争における十・十四襲などによって街の9割が焼失した那覇の復興の象徴として、国際通りは「奇跡の1マイル」と呼ばれていました。以前あった「アーサーパイル国際劇場」という映画館が名前の由来です。復帰前は、観光客向けの宝石や時計などの高級品のお店が並んでいました。

現在も国際通りの名は国内外に知れ渡り、世界のフチナンチュ大会の参加者は国際通りをパレードすることで祖国に帰ってきたことを実感するようです。

## 若者娯楽の中心地

国際中央通商店街振興組合の中西久治理事長にお話を伺いました。

中西さんが中学・高校の頃は、若者の娯楽の中心だった国際通りで映画やショッピング、ボウリングなどを楽しんだそうです。また「これからは地元のお客さんにもっと來てもらえるような通りになることで、観光のお客さんのリピーターにもつなげたい」と今後の抱負を語ってくれました。



## 昔も今も文化の発信地

通りの真ん中あたりのぶんかテンプス館には、伝統芸能の常設公演や伝統工芸館があり、近くにはパレット市民劇場や那覇市歴史博物館、そして昨年開館したなはちがあります。文化芸術を楽しまついでに、ぜひ国際通りを散策してみてください。

また、日曜日の午後には開催されるフランチットモールでは、普段歩けない車道を堂々と歩くことができます。夕方、道路の中央から撮る車のない国際通りの写真はインスタ映えすること間違いなしです!



取材▼沖繩尚学高等学校 池之内羅文



取材▼沖繩尚学高等学校 池之内羅文

# サンライズなは商店街

高校生  
完全連載



見ていく？なはまち  
ふらっと  
寄り道



ふらっと4  
サンライズ  
なは商店街

高校生  
完全連載



見ていく？なはまち  
ふらっと  
寄り道



ふらっと5  
市場本通り

こんにちは！私たちは沖縄尚学高校の地域研究部です。最近、女子部員はインドの創作舞踊「ティラナティラナ」を練習しています。難しいけれどかわいい踊りなので、たくさんの方で踊りを披露したいです！さて、今年も楽しい夏休みがやってきました！県内で家族や友達とゆつくり夏を楽しみたいという方も多いことでしょうか。ということで今回は、夏休みを満喫するのにぴったりのサンライズなは商店街を紹介していきます！

**サンライズなは商店街の歴史**  
戦後、開南バス停付近に自然発生的に青空市が登場し、この通りの基礎となり新米通りと呼ばれました。1988年には、当時最新鋭のアーケードが設置され、カラー舗装化を実施しました。同時に商店街の愛称を公募し、「太陽がさすような明るい商店街にしよう」という願いを込めて、サンライズなは商店街と名付けられました。

**心の距離が近い商店街**  
サンライズなは商店街の上原賢三副理事長に話を伺いました。商店街では「くらくら×つなぐ×みつげる」というコンセプトで魅力を発信するため、商店街の写真集を作成したり、その写真をInstagramに投稿されたりもしています。

取材では「サンライズなは商店街は、昔の沖縄の商店街のようにお客さんとお店の人、おじいおばあが気軽にしゃべりできるような心の距離が近い場所、その良さを守ってほしい」と語ってくれました。



取材▼沖繩尚学高等学校 照屋瑠華



**サンライズなは商店街の魅力**  
サンライズなは商店街は、昔ながらのお店と現代風のお店が共存している商店街です。おしゃべりな古着屋さんやアンティークなカフェがあり、友達と遊びに来たら盛り上がることは確実！沖縄郷土料理の店や呉服屋さん、昔有名だったゲームセンターの看板などもあり、家族やおじいちゃんおばあちゃんも来たら昔話に花が咲きそうです。また、道幅が広いので、お子連れでも安心して散歩ができます！商店街のシンボルであるスタンドグラスが使用されているアーケードもインスタ映え間違いなし！

# 市場本通り

みなさんこんにちは！沖縄尚学の地域研究部です！夏もそろそろ終わりが近づいてきましたね。みなさんはどんな夏を過ごしましたか？私たちが地域研究部は、県内外の高校生との交流会で、まちぐるいに関するプレゼンやエッセイを披露しました。さて、みなさんは市場本通りを歩いたことがありますか？この通りは、国際通りとまちぐるいをつなぐ通りとして、地元客・観光客共に人通りがとても多いです。今月はそんな市場本通りを紹介していきます。

**ガーブ川との深い関係**  
昭和34年に「市場本通り」という名前がついたようです。国際通りのドン・キホーテから市場本通りに入った左側のお店の下には、ガーブ川が流れています。昔のガーブ川は大雨が降ると氾濫を繰り返していたそうですが、それを防ぐためガーブ川に蓋をして、その上に「水上店舗」が建てられました(昭和40年)。水上店舗は農連プラザ手前まで続いているが、第一牧志公設市場(現在新市場建設中)までのアーケードの商店街が市場本通りです。

**「お菓子通り」とも呼ばれていました**  
市場本通りは国際通りとまちぐるいを繋ぐ道として、昔から多くの人通りが見られました。通りには沖縄の年中行事や冠婚葬祭に必要な郷土菓子を販売している菓子屋もたくさんあり、「お菓子通り」とも呼ばれていたこともあるそうです。現在は、食品や雑貨などの沖縄県産品専門店が増え、観光客だけでなく、地元客にも求められるものがたくさん売っているのが魅力ですね。



**伝統をつなぐ、歌をつなぐ**  
市場本通りの川満倫田会長は「以前は人にならないうように歩くのが難しいほどの人通りでした。」「口元の影響を大きく受けました。徐々に出入は戻ってきていて、新しい公設市場が完成したら更に多くの人に来てくれると思います。ここでしか買えないものをそろえることで、先人によって作り上げた「市場本通り」という伝統を後世にも伝えたいです」と語ってくれました。

また、川満さんが中心になり、市場本通りを含む商店街(まちぐるい)を盛り上げるためにセランワップスなどに「Home townわたーまちぐるい」というテーマソングを作ってもらったそうです。ぜひ曲を聴いた後は実際に市場本通りに遊びに来てください！

また、まちぐるいテーマソングはこちらから

取材▼沖繩尚学高等学校 山本琉斗

# 新 天地市場本通り

新天地市場本通りには、新天地市場の影響を受けてか現在も衣料品のお店が多く並びます。その他には、乾物屋さんや飲食店、占いやマッサージ機のお店、パソコン店や貝殻細工店、そしてメガネ屋



## 会話が自然と生まれる場所

戦後すぐできた新天地市場の近くなので、「新天地市場本通り」となりました。県外からの衣料品や食料品などを取り扱う小規模店が集まる新天地市場は地元客に大人気でしたが、平成23年10月に閉場され、現在は駐車場になっています。



現在も残る「新天地市場」の看板

みなさんこんにちは。沖縄尚学高校の地域研究部です。一学期も始まって楽しい学校生活が再開しました。私たち地域研究部では多くの学生たちと交流し沖縄戦や平和について話し合い、学んでいます。ところで、みなさんは新天地市場本通りに行ったことはありますか？これは観光客より地元客が多く、地元ならではの、とても感じることが出来ます。今月はそんな新天地市場本通りを紹介していきます。

## まちづくりの背骨の中心

のうれんプラザから太平通りを抜けた先が新天地市場本通り、逆に国際通り側からは、むつみ橋交差点から市場本通り、市場中央通りを抜けると新天地市場本通りです。のうれんプラザを入り国際通りまで商店街の片側にはガープ川が流れていて、その上にはまちづくり（商店街）の背骨のような存在の水上店舗が建っています。



取材▼沖縄尚学高等学校 小渡天雅



また、浮島通りから入る新天地市場があった駐車場は、スペースが広めで駐車が不得意の方にも重宝されているというレアな情報もゲットしました。みなさんも新天地市場本通りをぜひ訪問してみてください。



新天地市場本通り会の山城吉明会長は「コロナ禍の影響で減っていた客足が少しずつ戻ってきた気がしますね。現在はシニア・シルバー層の憩いの場になっているけど、今後は若者にも遊びに来てもらえる場所にしたたいね」と笑顔で話してくれました。

## ゆっくりゆったり

さんや古木屋さんなど、お客さんとお店の人の会話が自然と生まれるお店がズラッと並んでいます。

高校生 発表連載

見ていくっ！なはまち

ふらっと 寄り道

ふらっと6 新天地市場本通り

# 浮 島通り

また、バスツアーを開催し、沖縄本島の色々な場所を訪れて交流を楽しんだとのこと。コロナ禍が収



浮島通り会の我部嘉宏会長に話を聞きました。浮島通りでは、コロナ禍前までは、毎年、綱引きや餅つきを開催して、家族連れなどのお客さんと通り会店舗の関係を深めていたそうです。

## 絆が深まるイベント盛りだくさん

戦後すぐに建った「浮島ホテル」が名前の由来のようです。かつて千歳通りと呼ばれた千歳橋があった通りと、浮島通りが一緒になって、今の浮島通りになりました。



## 浮島通りの立地と歴史

桜坂中通りの「壺屋つふシーサー」を目印に、国際通りの松尾交差点付近まで一方通行の道が浮島通りです。途中でサンライズなほ商店街と交差し、新天地市場本通りと市場中央通りの間を通る屋外商店街です。



取材▼沖縄尚学高等学校 照屋瑠華

秋の涼しい季節、散歩がてらに、ぜひ浮島通りを訪問させていただきます。



浮島通りは、昔ながらの金物屋さんや豆腐屋さん、歴史のある和菓子屋さんなどがありながら、若者に人気の服屋さんや雑貨屋さん、レザー製品のお店などが並びおしゃやな商店街です。友達と散策すれば楽しい1日になると間違いない！レトロな雰囲気がたくさん残っているのが家族やおじいちゃんおばあちゃんにわたって、あやんと来たの知らない昔話が聞けるかもしれません。

## レトロでおしゃれなストリート

束したら、たくさんのお客さんを選んで必ずイベントを再開したい」と熱く語ってくれました。

高校生 発表連載

見ていくっ！なはまち

ふらっと 寄り道

ふらっと7 浮島通り

# 大平通り



みなさんこんにちは。沖縄尚学高校の地域研究部です。最近、私たちの部活では毎月のようにイベントがあり、忙しくて大変ですがとてもやりがいを感じています。

ところで、みなさんは大平通りに行ったことはありますか？この通りは観光客よりも地元客が多く、野菜や惣菜などが超お手軽な値段で販売されている、地域の台所的な商店街です。今回はそんな魅力あふれる大平通りを紹介していきます。

**〇〇屋さんのおパレード**

大平通りには、品ぞろえが豊富な八百屋さん、量り売りのお味噌屋さん、手作りのミキ屋さんに総菜屋さん、洋服屋さん、駄菓子屋さん、〇〇屋と呼ばれる昔ながらの専門店が並んでいます。

また、レトロな雰囲気のある食堂、新しい今風の飲食店が混在する通りでもあります。ホテルの階にあるおしゃれなオープンカフェでは不定期にライブ演奏もしているようで、ラッキーなことに取材の日に聴くことができました。我々の学校の購買担当の半額、250円の作りたて弁当も魅力的です！

**通り名の由来はかつての橋**

大平通りは、平成29年にオープンした「のうれんプラザ」からアーケードのあるマチアワーへの入口の商店街です。大平通りから新天地市場本通り、市場中央通り、市場本通りを進むと、その先は国際通りにむつみ橋交差点に出ます。国際通りに向かつてこの4つの通りの右側に連なるのが水上店舗です。その下を流れるガープ川に、その昔「大平橋」が架かっていたことから、この通りの名前がついたそうです。



大平通り会の黒島良規会長は、「コロナ前は賑わっていたけど、人通りがかなり少なくなっているね。店舗の入れ替わりも増えているよ」と通りの現状を話してくれました。通りの魅力は何と「自信をもって「入」。通りのお店に「面白い店員さんがたくさんいて、面白い物の際にゆんたくを楽しんで常連さんになるお客さんもよくいるよ」と笑顔で話してくれました。

また、不思議なことに新天地市場本通り側の看板には「大平通り」のうれんプラザ側の看板には「大平通り」と書かれているそうです。買い物の際には「大」と「大」の違いを確認してみてくださいませ！

**100メートルに魅力がいっぱい**

大平通り会の黒島良規会長は「コロナ前は賑わっていたけど、人通りがかなり少なくなっているね。店舗の入れ替わりも増えているよ」と通りの現状を話してくれました。通りの魅力は何と「自信をもって「入」。通りのお店に「面白い店員さんがたくさんいて、面白い物の際にゆんたくを楽しんで常連さんになるお客さんもよくいるよ」と笑顔で話してくれました。

高校生 発表連載

見ていく？なはまち

ふらっと 寄り道

ふらっと8 大平通り

# 市場中央通り

みなさんこんにちは。沖縄尚学高校の地域研究部です。部活では最近、エイサーなどの舞踊を学校外で発表することが多く、練習に力を入れています。10月には JICA 国際協力フェスティバル、11月には新都心秋祭り舞踊を披露しました。

さて、今回は私たちが地域研究部で市場中央通りを取材してきました。市場中央通りの歴史や魅力などについて紹介します。

**立地と成り立ち**

令和5年3月にオープン予定の第一牧志公設市場の正面入り口横から浮島通りまでの全長160mをアーケードでつなぐ市場中央通りは、市場本通りと新天地市場本通りの間にあり、その名前が示すごとく「中央」を感じさせる通りです。

ガープ川添いの闇市からスタートした露店群。1962年から工事が始まったガープ川の上に通う水上店舗の第二街区の通りとして並び、1994年に市場中央通り会が設立されました。

**市場中央通りの魅力**

市場中央通り会役員の宮城章さんは、通りの魅力について「比較的昔から変わらないお店が多く、新しく入ってきたお店や業種を変えたお店とパランスよく調和されているのかな」と笑顔で話してくれました。

また、「コロナ禍の状況を尋ねると「通りを行き来する人は減っちゃってるけど、通り会に入る

令和5年3月にオープン予定の第一牧志公設市場の正面入り口横から浮島通りまでの全長160mをアーケードでつなぐ市場中央通りは、市場本通りと新天地市場本通りの間にあり、その名前が示すごとく「中央」を感じさせる通りです。

ガープ川添いの闇市からスタートした露店群。1962年から工事が始まったガープ川の上に通う水上店舗の第二街区の通りとして並び、1994年に市場中央通り会が設立されました。

令和5年3月にオープン予定の第一牧志公設市場の正面入り口横から浮島通りまでの全長160mをアーケードでつなぐ市場中央通りは、市場本通りと新天地市場本通りの間にあり、その名前が示すごとく「中央」を感じさせる通りです。

ガープ川添いの闇市からスタートした露店群。1962年から工事が始まったガープ川の上に通う水上店舗の第二街区の通りとして並び、1994年に市場中央通り会が設立されました。

高校生 発表連載

見ていく？なはまち

ふらっと 寄り道

ふらっと9 市場中央通り



「2階から通りを見たことある？」と言いながら宮城さんは、特別に自分たちを上階に案内し、プライベートエリアからアーケードを歩く人たちの姿を見せてくれました。また、宮城さんに紹介されたお隣の佐原直美さんに店舗の2階はどうなっているのか何と「2階はアカセサリーを作ったり、直したりする作業場になっています」と教えてくれました。

個性があつて、愛着が持てる市場中央通り、なかなか入ることのできない2階がどのような造りになっているのか想像しながら歩くのも楽しいですよ。

店舗が増えたんだよ。みんなで「勝手に力合わせようってね。昨年の那覇市制100周年を記念した通りの活性化イベントも大成功。紅型「スター作りや三線体験などで通りの人と観光客・地元客で盛り上がったんだよ」と話してくれました。

**上も向いて歩こう！**

「2階から通りを見たことある？」と言いながら宮城さんは、特別に自分たちを上階に案内し、プライベートエリアからアーケードを歩く人たちの姿を見せてくれました。また、宮城さんに紹介されたお隣の佐原直美さんに店舗の2階はどうなっているのか何と「2階はアカセサリーを作ったり、直したりする作業場になっています」と教えてくれました。

取材▼沖縄尚学高等学校 池之内羅文

# のうれんプラザ

朝活のススメ  
のうれんプラザは朝早くからオープンしています。なんと朝の4時頃から開いているそうです。県内各地から農家が集まり、果物や野菜などの卸売をしています。この日は、明日の準備をする農家さんがいて、本部町で朝採れたばかりのキャベツを並べ



## 朝活のススメ

戦後の復興で職人が集まった壺屋の周辺に自然と生まれた市が起源で、1953年に「農連中央市場」として開設されました。「のうれん」と呼ばれて親しまれ、県民の台所として60年にわたって沖縄の生活を支えてきました。建物の老朽化により閉鎖され、2017年に新たにオープンしたのが「のうれんプラザ」です。開南バス停からすぐ近くで、太平通りなどにも隣接する3階建てのシヨップンプラザです。

## 成り立ちと立地

みなさんこんにちは、沖縄尚学高校の地域研究部です。最近はずっと寒くなってきましたね。寒い季節にはやっぱり温かいお鍋こそして、お鍋に欠かせないのはなんといってもおいしい野菜です。今回は、新鮮な野菜を買うのに「ピタリな「のうれんプラザ」を紹介していきます。



取材▼沖縄尚学高等学校 対馬ゆま

あなたの知らない沖縄がここにある  
のうれんプラザ商店会の友利繁文会長は「まちを作るのに大切なのは、人と話してくれました。地域まちづくりの一端として建てられたのうれんプラザで市場に来る人、近隣に住んでいてこそ、商売街はイキキすると教えてくれました。のうれんプラザにはパリエティ豊富なお店がそろっています。野菜や果物はもちろん、天ぷらや焼き芋、ラーメンやステーキ、その他新メニューや刀の専門店まであります。キャッチコピーは「あなたの知らない沖縄がここにある」です。みなさんもぜひ訪ねてみてください。



高校生発案連載



見ていく? なはまち  
ふらっと寄り道

ふらっと10のうれんプラザ

# 壺屋やちむん通り

やちむん入門のススメ  
伝統的な工芸品以外にも、最近はお洒落なデザインや色味をした焼き物も多く見られます。壺屋やちむん通り会会長の島袋弘貴さんは「新しいお店も入った伝統を伝えていくことが、やちむん通りの役割だと思います」と素敵な笑顔で話してくれました。気さくで元気なおばちゃんたち(あつ、おじちゃんも)が初



成り立ちと立地  
壺屋は1682年に琉球王府が複数の窯場を集めて以来、焼物の街です。やちむんとは沖縄の方言で陶器を指し、多くの店舗が軒を連ねる通りでは様々な焼き物を身近に感じることが出来ます。壺屋地域で作られたものだけでなく、県内各地で作られた焼き物が揃っていることも魅力のひとつです。平和通りをサンライズ通りとの接点を右に曲がらずにまっすぐ進むと、壺屋やちむん通り。通りの一角には壺屋焼物博物館があります。



## 成り立ちと立地

皆さんこんにちは、沖縄尚学高校の地域研究部です。三月は、卒業や進級準備などであわただしく過ぎていってしましますね。今回は、ゆつくり歩いて巡りたい壺屋やちむん通りについて紹介します。



取材▼沖縄尚学高等学校 森 理緒奈

通りに潜んでいる隠れシーサーを探しに、私もまた足を運びます！



壺屋は1682年に琉球王府が複数の窯場を集めて以来、焼物の街です。やちむんとは沖縄の方言で陶器を指し、多くの店舗が軒を連ねる通りでは様々な焼き物を身近に感じることが出来ます。壺屋地域で作られたものだけでなく、県内各地で作られた焼き物が揃っていることも魅力のひとつです。平和通りをサンライズ通りとの接点を右に曲がらずにまっすぐ進むと、壺屋やちむん通り。通りの一角には壺屋焼物博物館があります。

高校生発案連載



見ていく? なはまち  
ふらっと寄り道

ふらっと11壺屋やちむん通り

# 第一牧志公設市場



第一牧志公設市場組合長の栗國智光さんに、オープン前の市場を案内してもらいました。新しい市場の目的は「沖縄食文化の継承・発信・交流」「中心商店街のランドマーク」と話してくれました。場所は、国際通りから市場本通りに入りまっすぐ歩いていくと、市場中央通りに差しかかるところで右側に真新しい建物がドーンと登場します。お客さんとお店の人が、オスズメや調理法を話しながら面白い物する。相対売り、がしつかり残る魅力いっぱいの市場です。

## 「沖縄食文化の発信拠点と」「中心商店街のランドマーク」

また、今回が私たちの書く最後の記事となりました。一年間のご愛読ありがとうございます。



戦前、東町に栄えていた公設市場は、米軍により立入禁止区域となりました。戦後、現在の開南バス停付近に露天商が集まり、自然発生的に闇市が始まりました。那覇市は秩序の回復と安心安全の商品提供のため、闇市の移転先として昭和25年精肉鮮魚市場を作りました。それが現在の第一牧志公設市場の始まりです。その後、昭和47年に現在の場所に建て替えられた旧市場は、令和元年に老朽化のため取り壊され、仮設市場を経て今回のオープンとなりました。写真で見たことしかありませんが、地域研究部の先輩たちが地域の子どもたちへのまち探検で案内したのもこの旧市場です。

新市場には、1階にお肉・お魚生鮮品の売場、2階に食堂、3階には新たに調理体験室や多目的室ができました。地元の食材を使った調理体験は沖縄食文化を実感できる場所になるでしょう。また、旧市場を知っている人には懐かしさもある吹き抜け空間、そして新しくバリアフリーと多言語対応の設備も充実しています。

## 新市場！新情報！

戦前、東町に栄えていた公設市場は、米軍により立入禁止区域となりました。戦後、現在の開南バス停付近に露天商が集まり、自然発生的に闇市が始まりました。那覇市は秩序の回復と安心安全の商品提供のため、闇市の移転先として昭和25年精肉鮮魚市場を作りました。それが現在の第一牧志公設市場の始まりです。その後、昭和47年に現在の場所に建て替えられた旧市場は、令和元年に老朽化のため取り壊され、仮設市場を経て今回のオープンとなりました。写真で見たことしかありませんが、地域研究部の先輩たちが地域の子どもたちへのまち探検で案内したのもこの旧市場です。

## 成り立ち

沖縄尚学高等学校  
地域研究部の  
みなさん  
(後列 左から)  
照屋 瑠華さん  
対馬 ゆまさん  
佐喜真 有咲さん  
(前列 左から)  
山本 琉斗さん  
池之内 羅文さん



## 連載記事を終えての感想

沖縄尚学高等学校地域研究部では、2018年からまちぐるー(中心商店街)の魅力幅広い世代に伝える「まちもどし」という活動を行っています。

広報なは市民の友の「見ていく?なはまち ふらっと寄り道」を1年間担当するという貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございます。実際に取材で現地に行ってみて、各通りの成り立ちや歴史、コロナ禍の人の流れの変化、そして関わる方々の温かみを感じることができました。締切のある広報紙を12回無事掲載できてホッとしております。

高校生  
発案連載



見ていく?なはまち  
ふらっと

寄り道

ふらっと12  
最終回  
第一牧志  
公設市場

## Snap shot



# 未来への視点 アプローチまちの「仕次ぎ」

2021年(令和2年)に市制100周年を迎えた本市にあっては、これまでの確かな歩みをさらに進めながら、次の100年にも思いを馳せなければなりません。100年を超える泡盛の古酒(コース)は、熟成された古酒に少しずつ新たな酒を加えていく丁寧な「仕次ぎ」により、その芳醇な香りとまろやかな風味を後世に引き継いできました。まちづくりも同様に、伝統の中にも新し

い仕組みを取り入れることが、まちにさらなる輝きと風格を生み、次世代へ引き継ぐことができると考えます。次世代の笑顔が輝く那覇市になるよう、まちの「仕次ぎ」を意識して、これからの100年を展望した、まちづくりにアプローチします。また、次の3つの「力」を未来を拓く重要な視点と位置づけ、全ての施策を遂行する上で、それぞれの視点を強く意識することとします。



那覇小学校区まちづくり協議会設立総会

## ☆「稼ぐ力」を高める視点

成長産業分野への対応力を強化しながら、新たな発想で土地の高度利用を促進し、時代を牽引する人材や企業の集積を進めるとともに、未来を拓く人材の育成とその能力が発揮される環境を整えることなどで、自律的な経済基盤を拡大させ、市民の暮らしを豊かにする、「稼ぐ力」を高める視点を意識します。



市無形民俗文化財 泊地バーリ

## ☆「つながる力」を広げる視点

小学校区を単位とし、自治会、学校、NPO、企業等が参画する新しいコミュニティや様々な地域資源が結び付くシステムを構築しながら、内外との交流の輪を広げるとともに、先人の知恵や工夫を次代へ継承することなどで、地域と人を幅広く縦横に結びつける、「つながる力」を広げる視点を意識します。



SDGsシンポジウム

## ☆「ひきつける力」が輝く視点

那覇らしい景観の実現や安全安心で快適な交通環境を整備しながら、郷土の歴史や伝統・文化を受け継ぐとともに、楽しく子育てできる環境や皆が笑顔で働く環境を整え、まちの魅力を高めることなどで、人々に、訪れたい、暮らしたい、働きたいと思わせる、「ひきつける力が輝く」視点を意識します。



まちづくりの将来像として  
まちの姿を具体化するために掲げた  
5つのめざすまちの姿  
それぞれ独立するものではなく  
互いに密接に連携しながら  
那覇市の将来像を実現します

多様なつながりで  
共に助け合い  
認め合う安全安心  
に暮らせるまち  
NAHA

互いの幸せを地域  
と福祉で支え合い  
誰もが輝くまち  
NAHA

5つの  
めざすまちの姿

次世代の未来を  
拓き豊かな学びと  
文化が香る誇り  
あるまち  
NAHA

自然環境と都市  
機能が調和した住  
み続けたいまち  
NAHA

ヒト・モノ・コトが  
集い、育ち、広が  
る万国津梁のまち  
NAHA

# 多様なつながりで共に助け合い、 認め合う安全安心に暮らせるまち NAHA



イチャリバチョーデーとユイマールの精神でおおらかなコミュニティを築きながら発展してきた那覇市は、個人や個性を尊重し、多様な生き方が認められる素地が整っています。あいさつからはじまる交流が世代を超えてつながり、市民みんなが主役となり楽しく安全安心に暮らせるまちをめざします。

そのために、お互いが思いやり譲り合いの気持ちであふれ、心と心が響きあい・紡ぎ合う協働によるまちづくりによって地域の力を高めていきます。小さな「わ」が大きな「Wa」\*1へとつながるように、自助、近助\*2、共助、公助の役割を確認し、地域の人々と行政が対話を重ね、小学校区を対象としたまちづくりを進め、地域の課題解決に協働で取り組みます。

防災・防犯に関する活動などを通して、地域が結束した誇り高いまちづくりを進めます。さらに、国内外との交流の輪を広げ、恒久平和を希求する市民の想いを未来へと発信します。男女が対等な立場で活躍することや性の多様性を意識しながら、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。



\*1地域の通り会やサークルなどの小さなグループである「わ」が、様々なグループとつながることで市全体に大きく広がり、さらに、国際都市として調和した「Wa」へと発展させたいという想いが込められた市民提案  
\*2近助とは、共助より身近な地域で思いやりた譲り合いの心を基本にした自然に出てくる助け合いを指し、近年使われ始めた言葉で、人々をつなぐ絆への市民の願いが込められた市民提案

写真  
①性の多様性を意識して、すべての人が生きやすい社会を考えた「2022ピンクドット沖縄」  
②識名園の火災を想定した「文化財防火訓練」  
③沿岸部に2016年建設された「那覇市津波避難ビル」

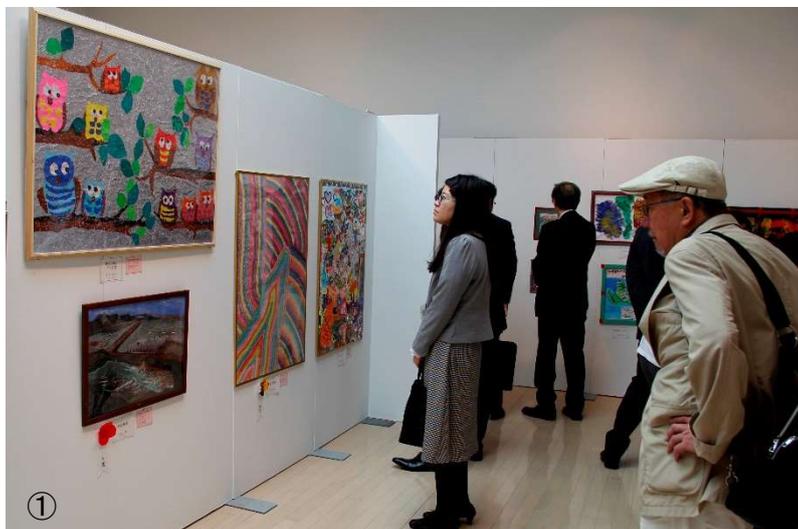


# 互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまち NAHA

超高齢社会の到来、少子化および核家族化が進行する中においては、地域のつながりがより重要になります。すべての人が自分らしく輝き地域の一員として見守り・見守られ心身ともに健やかで安心して暮らせるまちをめざします。

そのために、地域と世代がつなぐ支え合いにより、子ども、お年寄りも、障がいのある人もない人も、皆が夢や生きがいを持ち、地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、誰もが健康で文化的な生活を営む環境を整え、特に夢や希望にあふれる子どもたちへのセーフティネットを拡げます。一人ひとりが自らの健康づくりに取り組むよう、市民の健康意識を高めるとともに、誰もが身近な地域で良質かつ適切な医療を受けられるまちづくりを進めます。住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が包括的に確保される体制を確立します。大災害や感染症などの原因により生じる健康危機から、市民や来訪者の健康を守る体制を整えます。



## 写真

- ①障がいのある人もいきいきと暮らせるまちへ「障がい者美術展」
- ②就学前の児童の発達に関する相談と訓練を行う子ども発達支援センター
- ③史跡や市街地を巡る健康ウォーキング大会「ひやみかちなはウォーク」
- ④生きがいを持ち、地域の中で安心して暮らせるまちへ「地域ふれあいデイサービス敬老の祝い」



# 次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る 誇りあるまち NAHA



①

まちづくりは人づくりと言われるように、これからの新しい時代を切り拓く人材こそが重要となります。全ての成長過程にある子どもたちの主体性や創造性を育み、向上心に富む市民が、輝かしい未来に向かって歩む、豊かな学びと文化薫る、誇りあるまちをめざします。

そのために、地域全体で子どもの成長を応援し、市民が夢と希望にあふれ、子育てが楽しくなるまちづくりを進めます。保育や教育の充実のためには、家庭や地域、学校が一体となり、子どもたちをあたたく見守る環境が重要であり、市内の小学校をそ

の拠点にします。子どもたちが知的好奇心を高め、自ら学び成長していくプロセスを応援するとともに、その未来を拓く教育を推進する環境を整えます。いつでもどこでもだれでも学びやスポーツを楽しめるまちづくりを進めます。

また、しまくとぅばに身近に接するとともに、郷土の歴史や伝統文化などの価値を再確認する機会を創出し、それらにふれあい、受け継ぎながら、新たな文化を創造・発展させ、日常に文化が薫るまちづくりを進めます。

ハイタライ



写真

- ①2018年国宝(建造物)に指定された玉陵
- ②国際通りを埋め尽くすエイサー隊「一万人エイサー踊り隊」
- ③全国優勝など目覚ましい活躍をした子どもたちに送る「青少年特別賞」



③



②

# ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまち NAHA



我が国の南の玄関口として、アジアに開かれた那覇市は、アジアのダイナミズムを取り込むことによる新たな時代の到来が実感できるようになりました。この機会を確実に捉え、国内外から優れたヒトやモノが集い、そこから新たなモノやコトの付加価値を生み出し、世界へ羽ばたくことで、飛躍感がみなぎる万国津梁のまちをめざします。

そのために、先人が築き上げた歴史と文化、亜熱帯特有の気候や自然環境を活かし国内外はもとより、外国からの旅行者が何度も訪れたいくなる観光地としての地位を築きます。また、経済成長の著しいアジアにあって、主要都市との近接性等の地理的優位性を活かしたビジネスとリゾートが融合する都市として新たな地位を築きます。

さらに、広域での幅広い連携のもと、リーディング産業である観光産業や市内に集積が進む情報通信関連産業はもとより、戦略的成長産業に位置付けられた国際物流関連産業など、様々な産業の活性化や成長・振興を図ります。また、マチグワー\*3等の地域資源を活かした地域の活性化を図るとともに、市民一人ひとりの働く力をさらに発揮できる労働環境を整え、商都としての活力を高めます。

\*3昔ながらの商店街

## 写真

- ①アジアやヨーロッパから多くのクルーズ船が訪れる
- ②国際色豊かになる「那覇大綱挽まつり」
- ③国際通りには多くの修学旅行生も訪れる

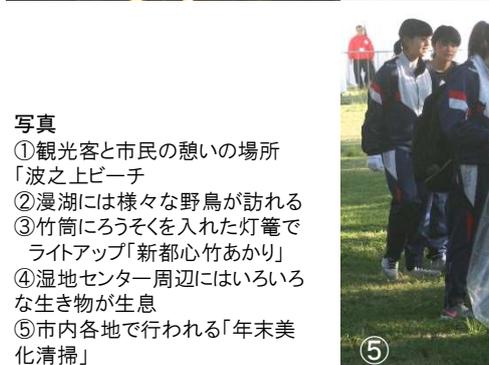
# 自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまち NAHA



① 沖縄らしい亜熱帯庭園都市を形成してきた那覇市は、魅力にあふれ住みよいまちとして発展してきました。これからも低炭素社会の実現に向けた地球にやさしい環境共生都市と安全安心で快適な都市機能を調和させ、誰もが訪れたい、住みつづけたいまちをめざします。

そのために、市内にある貴重な自然環境と多様な生態系を後世に残し、環境再生活動に積極的に取り組むとともに、地球温暖化対策に資する取り組みを推進します。災害に強く、安全安心・バリアフリーで快適な道路や公園、交通システム、ライフラインである上下水道等に必要な都市基盤の整備とともに、市民や事業所との連携により、公園などのあり方を見直し、時代に適した再活用を図ります。

また、亜熱帯地域にふさわしい緑と水辺空間を保全・創出するとともに、西海岸に広がるウォーターフロントエリアの整備を進めるなど、那覇らしい景観を維持しながら快適で住みよいまちづくりを進めます。那覇軍港等の大規模空間については、将来的な経済発展を見据え、臨港・臨空の優位性等それぞれの特色が発揮される活用を検討します。



## 写真

- ①観光客と市民の憩いの場所「波之上ビーチ」
- ②漫湖には様々な野鳥が訪れる
- ③竹筒にろうそくを入れた灯籠でライトアップ「新都心竹あかり」
- ④湿地センター周辺にはいろいろな生き物が生息
- ⑤市内各地で行われる「年末美化清掃」

# 姉妹都市 友好都市 交流連携都市

## 姉妹都市

サンビセンテ市  
(ブラジル連邦共和国)



人口: 約30万人  
面積: 約146平方キロメートル  
1978年10月23日姉妹都市提携

## 姉妹都市

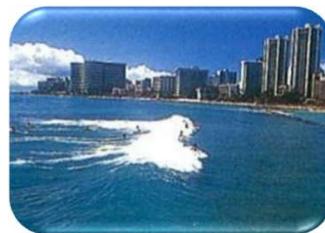
日南市  
(宮崎県)



人口: 約5万4千人  
面積: 約536平方メートル  
1969年4月24日姉妹都市提携

## 姉妹都市

ホノルル市  
(アメリカ合衆国)



人口: 約98万人  
面積: 約1,556平方キロメートル  
1961年1月10日姉妹都市提携



## 友好都市

福州市  
(中華人民共和国)



人口: 約680万人  
面積: 約12,153平方キロメートル  
1981年5月20日  
友好都市提携

## 友好都市

川崎市  
(神奈川県)



人口: 約146万人  
面積: 約144平方キロメートル  
1996年5月20日  
友好都市提携

## 交流連携都市

金沢市  
(石川県)



人口: 約46万人  
面積: 約468平方キロメートル  
2009年10月23日  
交流連携都市提携

## 交流連携都市

静岡市  
(静岡県)



人口: 約70万人  
面積: 約1,412平方キロメートル  
2009年2月3日  
交流連携都市提携

那覇のイベント

4月

波の上ビーチ海開き  
壺屋でシーサーの日

沖縄国際映画祭



5月

那覇ハーリー



6月

慰霊の日

7月

なはの日(7月8日)

8月

一万人エイサー踊り隊



9月

なは青年祭

10月

那覇大綱挽まつり

首里城祭



11月

ひやみかちなはウォーク

琉球王朝祭り首里



12月

NAHAマラソン

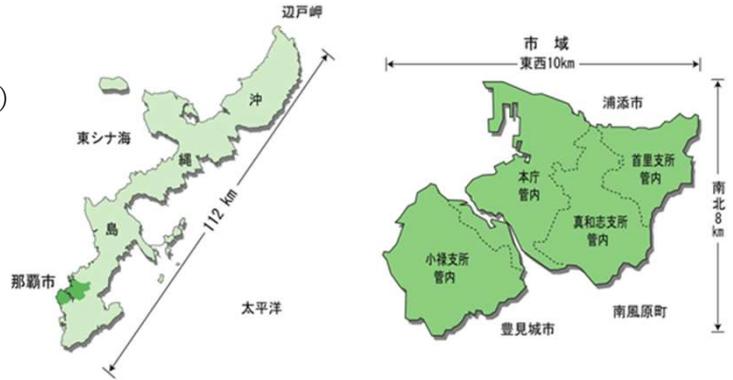
2月

読売巨人軍  
那覇キャンプ  
なはさくらまつり



## 位置と市域

那覇市の位置 北緯26° 10'34"~14'46"  
 東経127° 38'12"~44'19" (市の位置)  
 那覇市面積 41.42km<sup>2</sup> (令和4年1月)



## 市のシンボル

【市章】



ナハの字を円形に図案化し、無限に膨張発展する那覇市の姿を表しています。市制が施行された大正10年（1921年）に制定されました。

【市木 フクギ】



【市花 ブーゲンビレア】



【市花木 ホウオウボク】



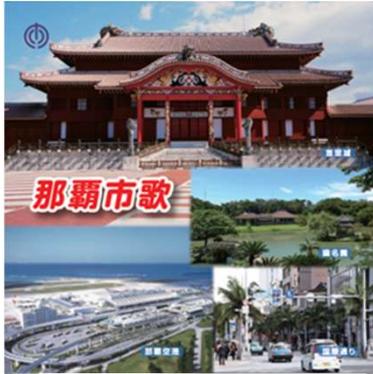
【市魚 マグロ】



【市蝶 オオゴマダラ】



# 市歌



那覇市歌の制定については、戦前の資料が戦争で失われたため、正確なことは分かっていません。しかし、当時の新聞の記録や作詞家の安藤氏の当時の日記などから、制定されたのは、1929年（昭和4年）頃と推定されます。現在、市歌は市のさまざまな式典や行事などで演奏されています。

## 那覇市歌

作詞・安藤佳翠(1~3番)/那覇市歌選定委員会(4~7番) 作曲・宮良長包

- 七、 青松並木の 識名園 志ゆかしき 真和志の野  
遠く海原 夢たくし 世界をつなぐ わが那覇市
- 六、 緑の風の 那覇空港 生業薫る 小禄の地  
若い力の 意気昂 未来はばたく わが那覇市
- 五、 守礼の邦の 城下町 歴史の息吹 受け継がんと  
万国津梁 ここにあり あしたをひらく わが那覇市
- 四、 御万人にぎわう 1マイル 誇れる郷土に 笑顔咲く  
結の心で とともに生き 平和はぐくむ わが那覇市
- 三、 ゆかりも古き 波の上 あおぐ誠を 捧げても  
理想の自治に 進まん 希望かがやく わが那覇市
- 二、 みどりも深き 奥武山 めぐる入江の 水なごみ  
清き心に 諸人の むつみしたしむ わが那覇市
- 一、 あけぼの清き 南の 港にぎわう 百船や  
まちはいらかの 数増して 弥栄えゆく わが那覇市

♩=96

あ け ぼ の き よ き み ん な み の  
み な と に ぎ わ う も も ふ ね や  
ま ち は い ら か の か ず ま し て  
い や さ か え ゆ く わ が な は し

# 指定文化財一覽

## 【那覇市内指定等文化財件数一覽】

	有形文化財(89件)											無形文化財(15件)			民俗文化財(16件)			記念物(53件)			選定保存技術	登録有形文化財	国県市別計					
	建造物(14件)					美術工芸品(75件)						空手・古武術	選取	有形	無形	選取	史跡	名勝・特別名勝	天然記念物									
	建造物国宝	寺院建築	城郭建築	橋梁	住宅	その他	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍									古文書				歴史資料	芸能	工芸技術		
国	1			2	1	3			2		3	2	5	6	1				1			2	6	5	2	1	6	49
県		1	1	3		1	7	7	36	4		3	2	2	3							1	7	1	1			80
市						1			1			2			1								28	2	1			49
計	1	1	1	5	1	5	7	7	39	4	3	7	7	8	5				1	3	10	3	41	8	4	1	6	178

## 【那覇市所在世界遺産】

条約資産別	国内指定区分	名 称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財(建造物) 記念物(史跡)	園比屋武御嶽石門	平成12年12月2日	首里真和志町1-7 那覇市
	重要文化財(建造物) 記念物(史跡)	玉陵	平成12年12月2日	首里金城町1-3、3-1 沖縄県、那覇市
遺 跡	記念物(史跡)	首里城跡	平成12年12月2日	首里当蔵町3-1、1-1 国、沖縄県
	記念物(特別名勝)	識名園	平成12年12月2日	字真地421-1ほか 那覇市外

統計・資料

# データで見る那覇

—Index—

市民の生活	1
那覇市の1日	2
統計から見た那覇市	3
国勢調査人口の推移	5
自然動態	5
人口の年齢別構造	6
人口ピラミッド	6
都市計画地域	7
気象	7
経済センサス-活動調査	8
那覇空港の旅客数と貨物量	8
消費者物価指数	9
1世帯あたり1か月間の消費支出割合	9
自動車保有台数	10
生活保護の状況	10
月別火災件数	11
救急活動状況	11
入域観光客数及び観光収入の推移	12
航路別県外観光客数の構成比	12
一般会計	13
市税収入状況	13
産業中分類別商店数・従業者数	14

# 《市民の生活 Life of Citizens》

## 人口密度

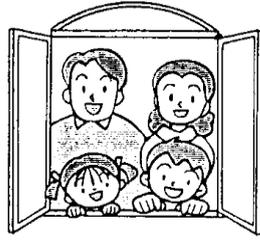
(令和3年12月31日現在)  
41.42km<sup>2</sup>(面積)



**7,686人/km<sup>2</sup>**

## 1世帯あたりの人員

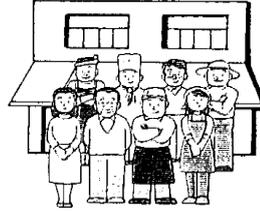
(令和3年12月31日現在)



**2.0人**

## 小売業の年間販売額

(平成26年7月1日現在)



**11.426万円**

## 公園面積

(市民1人あたり)  
(令和3年4月1日現在)



**6.20m<sup>2</sup>**

## 下水道普及率

(令和2年度)



**98.2%**

## 1ヶ月間平均消費支出額 1世帯あたり(二人以上の世帯)

(令和2年)



**216,202円**

## 登録・届出保有自動車数

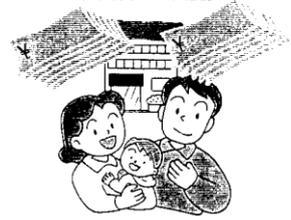
(乗用自動車1世帯あたり)  
(令和2年度)



**0.94台**

## 市民所得

(市民1人あたり)  
(平成30年度)



**2,744千円**

## 医療施設数

(病院・診療所・歯科診療所)



**483ヶ所**

(市民659人に1ヶ所)

## 病床数



**3,569床**

(市民89人に1床)

## 教員1人あたり

(令和3年5月1日現在)



小学生→17.3人  
中学生→14.4人

## 進学率

(令和3年3月31日現在)



高校進学率  
→**97.9%**

大学進学率  
→**52.5%**

## 消防職員1人あたり

(令和3年4月1日現在)



**市民1,149人**

## 市職員1人あたり

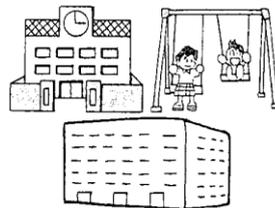
(令和3年4月1日現在)



**市民148人**

## 令和2年度歳出決算額

(一般会計)  
(市民1人あたり)



**597,755円**

## 令和2年度市税

(市民1人あたり)



**157,447円**

注:「人口密度」「1世帯あたりの人員」は、令和3年12月31日現在の住民基本台帳人口による数値である。

「医療施設数」「病床数」は、令和元年10月1日現在。人口は、令和3年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

「消防職員数」「市職員数」は、令和3年4月1日現在。人口は、令和3年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

# 《那覇市の1日》

# A day of Naha City

## 出 産

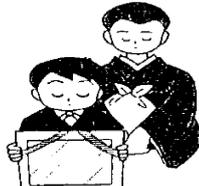
(令和3年)  
(外国人を含む)



**7.2人**

## 死 亡

(令和3年)



**8.4人**

## 結 婚

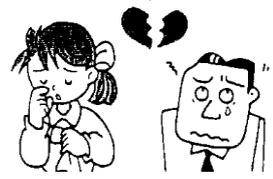
(令和3年)



**4.5件**

## 離 婚

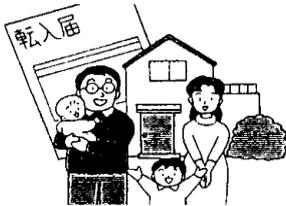
(令和3年)  
(外国人を含まない)



**1.9件**

## 転 入

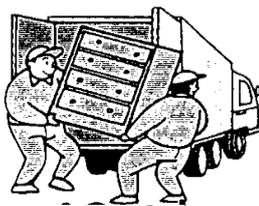
(令和3年)



**41.3人**

## 転 出

(令和3年)



**45.9人**

## 電 気

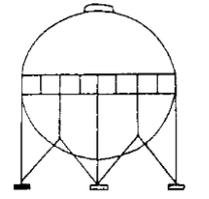
(令和2年度)



**5,924千KWH**

## 都市ガス

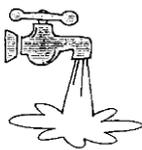
(令和2年)



**75.3千m<sup>3</sup>**

## 水道供給量1人あたり

(令和2年度)



**317ℓ**

## 交通法令違反 取締り状況

(令和2年)  
(那覇署管内)



**29.5件**

## 市立病院 夜間救急受診状況

(令和2年度)



**33.4人**

## 那覇空港乗降客

(令和2年)



乗客 **12,594人**  
降客 **12,570人**

## 市内バス利用者

(令和2年度)



**10,390人**

## ご み

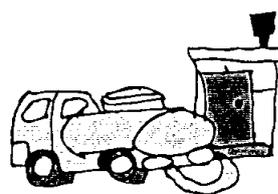
(令和2年度)



**275トン**

## し 尿

(令和2年度)



**12,831ℓ**

## 火 災

(令和2年)



**0.14件**

## 交通 事故

(令和2年)



**2.0件**

## 救急車出動数

(令和2年)



**49件**

## 刑 法 犯 罪

(令和2年)



認知件数 → **4.1件**  
検挙件数 → **2.4件**

## 市立図書館貸出冊数

(令和2年度)



**3,367冊**

注:那覇市の一日は、年間・年度間を365日で割ったものです。特にことわりのないものは、令和2年(1月~12月)の値です。  
「図書館貸出冊数」は、中央図書館開館日数(229日)で算出。

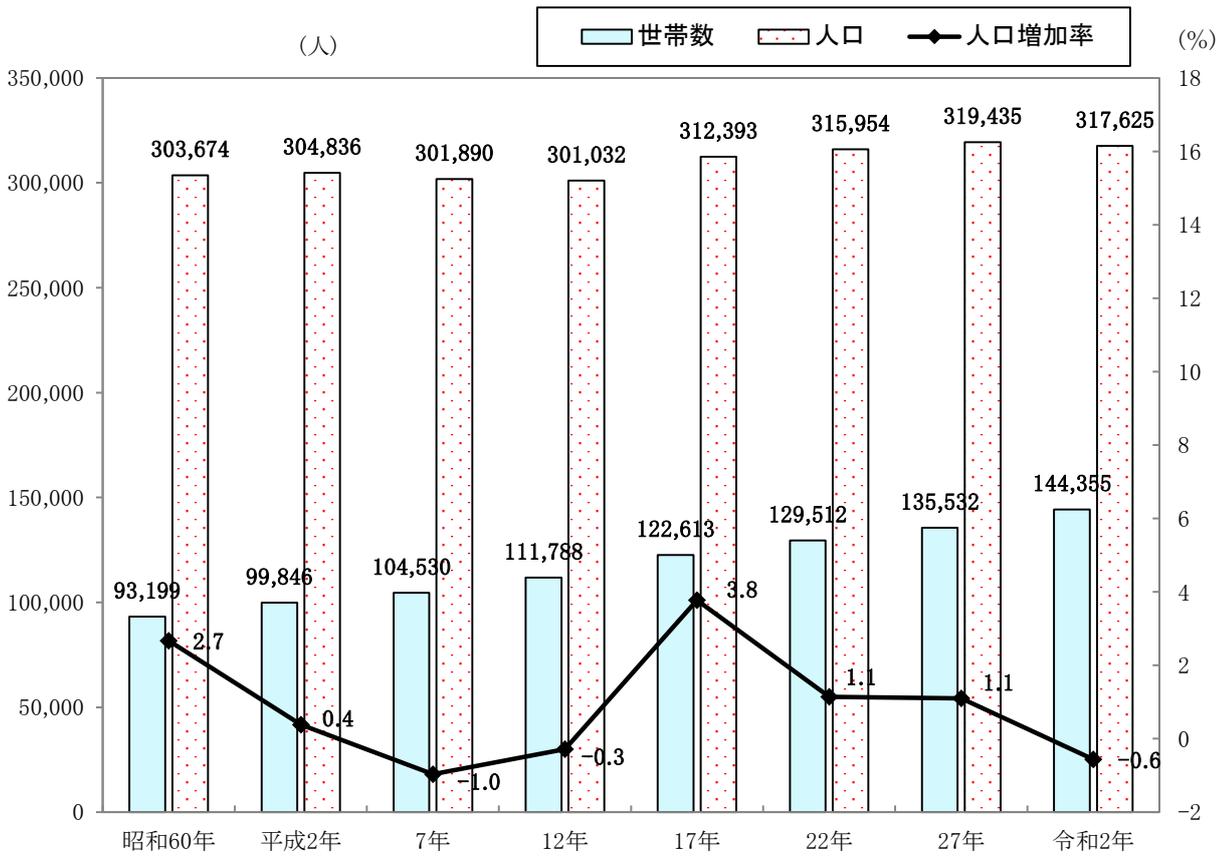
# 《統計から見た那覇市》

項 目		数	期 間・時 点	備 考
市域面積		41.42 km <sup>2</sup>	令和3年10月1日現在	
国勢調査	世帯数	144,355 世帯	令和2年10月1日現在	令和2年国勢調査
	人口	317,625 人		
	人口密度	7,688.4 人		令和2年国勢調査推計の面積(41.42km <sup>2</sup> )
	昼間人口	349,980 人	平成27年10月1日現在	平成27年国勢調査
	常住人口	319,435 人		
	人口集中地区面積	38.7 km <sup>2</sup>	令和2年10月1日現在	令和2年国勢調査
	人口集中地区人口	316,580 人		
	第1次産業従業者数	840 人	平成27年10月1日現在	平成27年国勢調査
	第2次産業従業者数	12,475 人		
	第3次産業従業者数	101,142 人		
住民基本台帳	総数	156,309 世帯 318,339 人	令和3年12月31日現在	
	本庁	52,429 世帯 99,122 人		
	真和志支所	51,749 世帯 103,618 人		
	首里支所	24,871 世帯 56,607 人		
	小禄支所	27,260 世帯 58,992 人		
	外国人(世帯・人口)	2,987 世帯 4,578 人		
	転入者数	15,083 人		
転出者数	16,763 人			
出生数	2,630 人			
死亡数	3,078 人			
婚姻届件数	1,638 件	令和3年(年間)	外国人を含まない	
離婚届件数	694 件			
事業所数	17,339 事業所	平成28年6月1日現在	経済センサス-活動調査	
従業者数	156,031 人			
事業所数(製造業)	83 事業所	令和2年6月1日現在	工業統計調査 (従業者4人以上の事業所)	
従業者数(製造業)	2,068 人			
製造品出荷額等	2,885,247 万円			
農家数	72 戸	令和2年2月1日現在	2020年農林業センサス	
農家世帯員数(個人経営体)	197 人			
経営耕地面積	5,623 a			
商店数	3,041 店	平成26年7月1日現在	商業統計調査	
内訳	卸売業			693 店
	小売業			2,348 店
従業者数	21,354 人			
内訳	卸売業			6,173 人
	小売業			15,181 人
年間商品販売額	76,913,717 万円			
内訳	卸売業			50,085,273 万円
	小売業			26,828,444 万円
住宅総数(居住世帯なしを除く)	138,040 戸			平成30年10月1日現在
内訳	持ち家	48,560 戸		
内訳	借家	84,440 戸		
建物総数	54,125 棟	令和3年1月1日現在	固定資産概要調書	

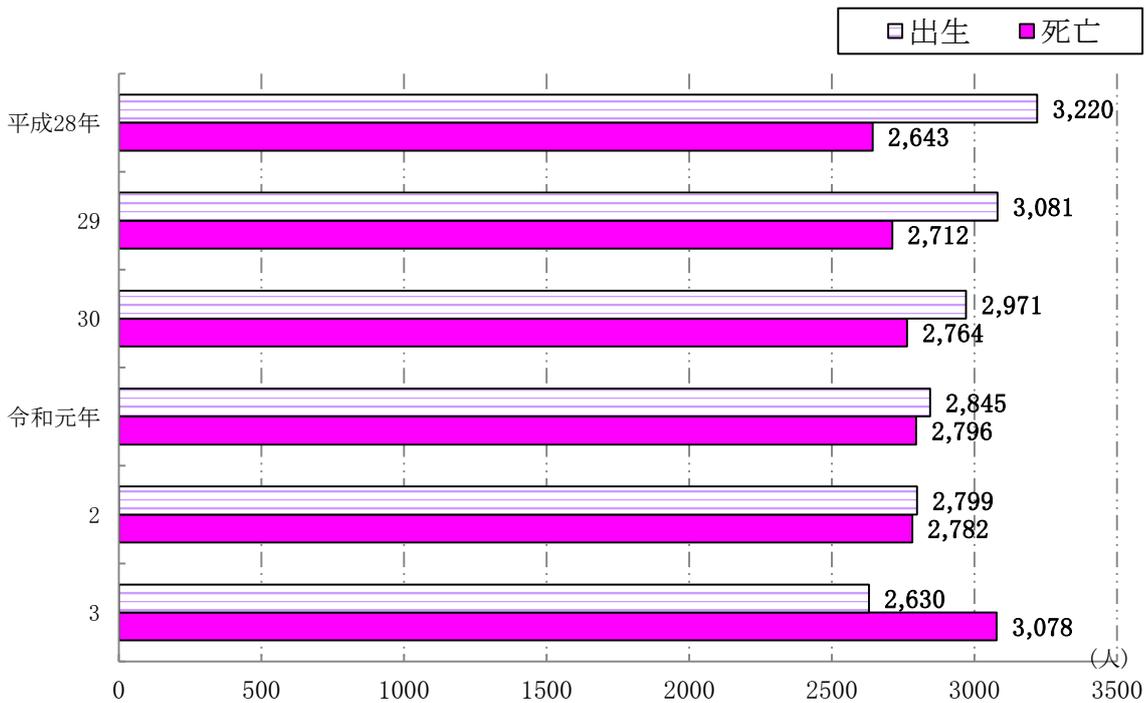
項 目	数	期 間・時 点	備 考
都市公園数	175 園	令和3年4月1日現在	
都市公園面積	197.89 ha		
市営住宅管理戸数	5,923 戸	令和2年3月31日現在	
電灯使用電力量	1,007,758,916 KWH	令和2年度(年度間)	
電力使用電力量	1,154,346,534 KWH		
都市ガス需要量	27,554,316 m <sup>3</sup>	令和2年(年間)	
水道配水量	36,839,552 m <sup>3</sup>	令和2年度(年度間)	
下水道普及率(人口)	98.2 %	令和2年度末現在	
1人あたり市民所得	2,744 千円	平成30年度	
消費者物価指数(総合)	100.0	令和2年平均	令和2年=100
消費者物価指数(食料)	100.0		
消費者物価指数(住居)	100.0		
消費者物価指数(光熱・水道)	100.0		
1世帯あたり消費支出(月平均)	216,202 円	令和2年平均 (二人以上の農林漁家 世帯を含む)	家計調査(二人以上の世帯)
1世帯あたり消費支出(月平均)	251,304 円		家計調査(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)
国民年金被保険者数	64,049 人	令和2年3月31日現在	
国民健康保険加入者世帯数	49,951 世帯	令和2年度平均	
国民健康保険被保険者数	78,383 人		
病院数	18 ヵ所	令和元年10月1日現在	
診療所数	283 ヵ所		
歯科診療所数	182 ヵ所		
病床数	3,569 床		
公害苦情件数	139 件	令和2年度(年度間)	
ごみ収集量	100,385 トン		
し尿処理量	4,683 KL		
交通事故件数	732 件	令和2年(年間)	
救急車出動件数	17,979 回		
火災件数	52 件		
NTT加入件数	29,907 件	令和3年3月31日現在	
保育所数・園児数	101 園 / 6,553 人	令和3年4月1日現在	
幼稚園数・園児数	総数 6 園 / 654 人 市立 0 園 / 0 人 私立 6 園 / 654 人	令和3年5月1日現在	(※若夏分校を含む)
小学校数・児童数	36 校 19,272 人		
中学校数・生徒数	総数 20 校 / 9,962 人 市立 18 校※ / 8,650 人 私立 2 校 / 1,312 人		
高校進学率	97.9 %	令和3年3月31日現在	
大学・短大進学率	52.5 %		
市立図書館蔵書冊数	665,346 冊	令和3年3月31日現在	
選挙人名簿登録者数	258,358 人	令和3年9月1日現在	
歳入決算額(一般会計)	199,159,290 千円	令和2年度	
歳出決算額(一般会計)	190,288,888 千円		
歳入決算額(特別会計)	70,030,085 千円		
歳出決算額(特別会計)	68,738,718 千円		
市税収入済額	50,121,541 千円		
国民健康保険税調定額	4,683,356 千円		
市職員数	2,421 人	令和3年4月1日現在	

# 《グラフで見る那覇市》

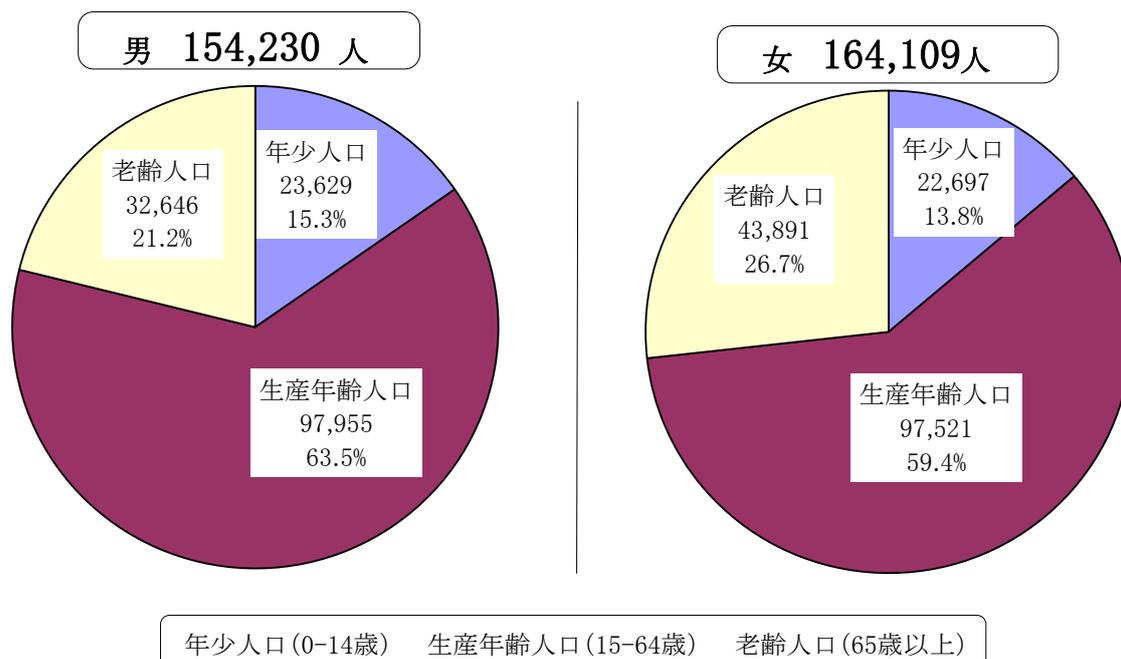
## 【国勢調査人口の推移】



## 【自然動態】(外国人を含む)

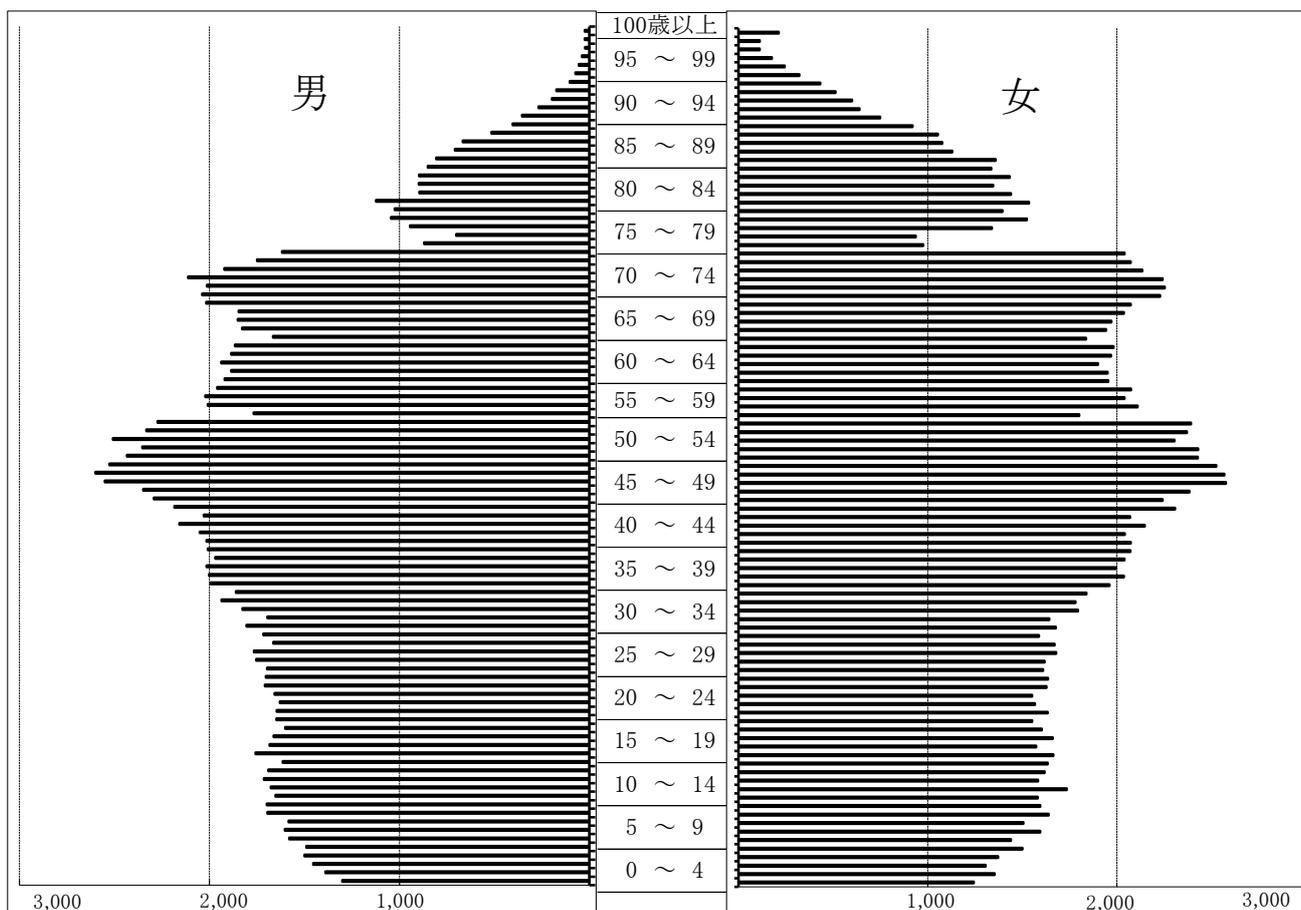


## 【人口の年齢別構造】(令和3年12月31日現在)

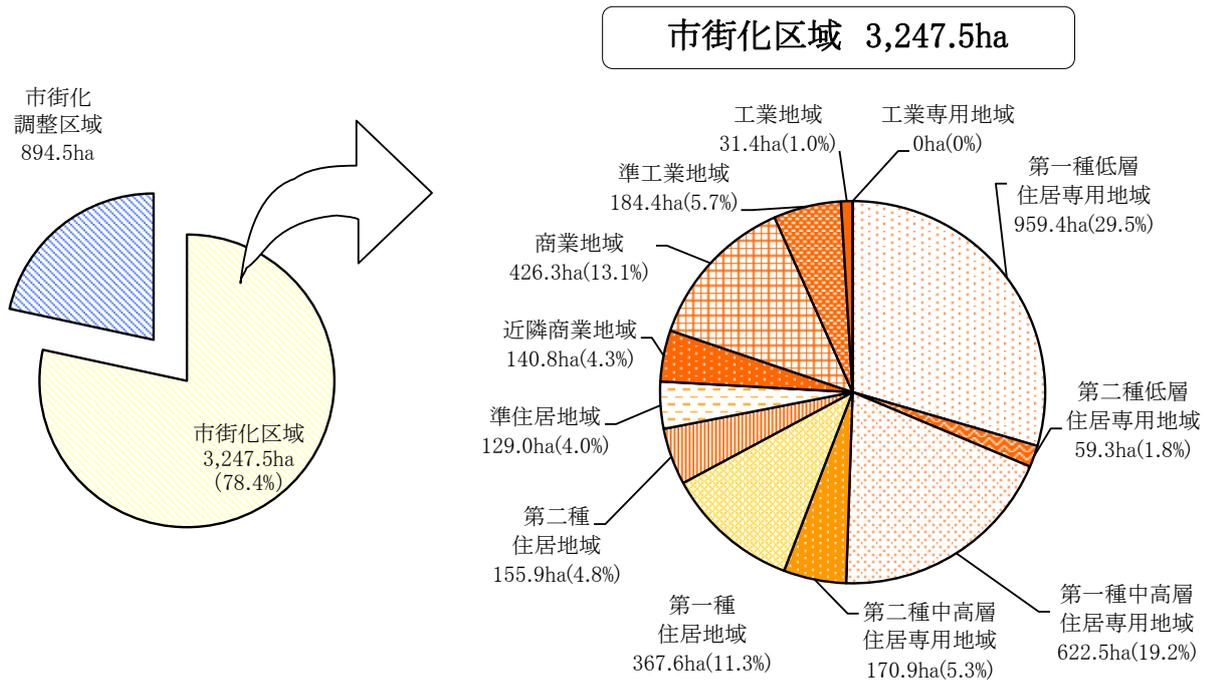


## 【人口ピラミッド】(令和3年12月31日現在)

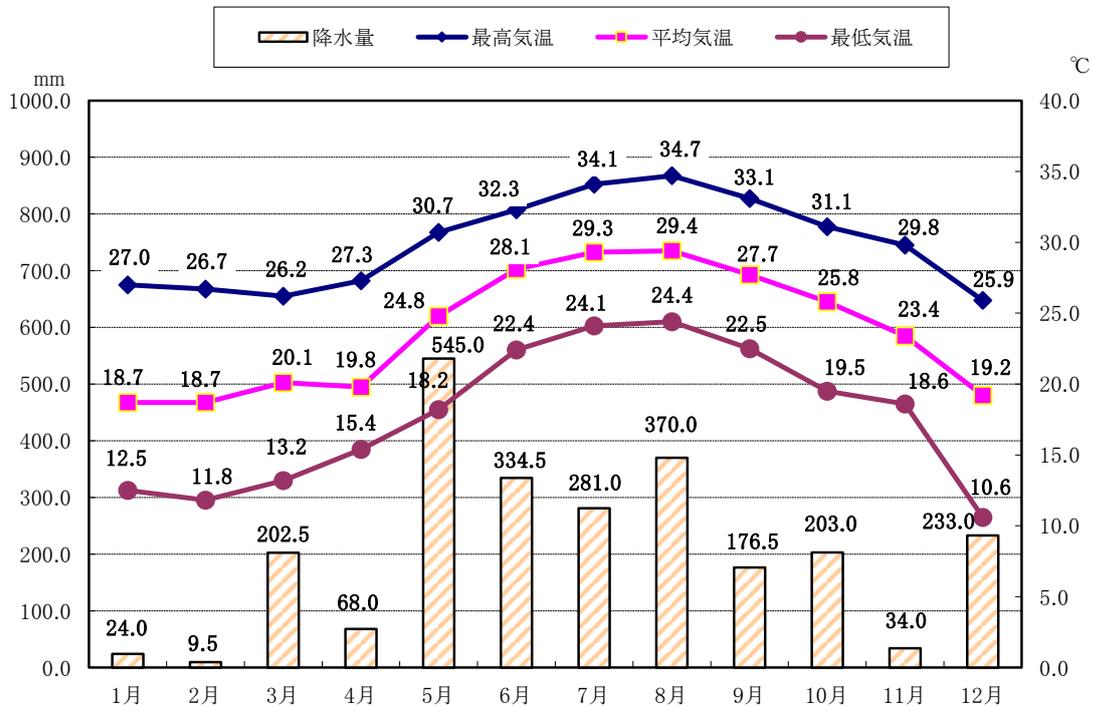
単位:人



【都市計画地域】(令和4年3月31日現在)

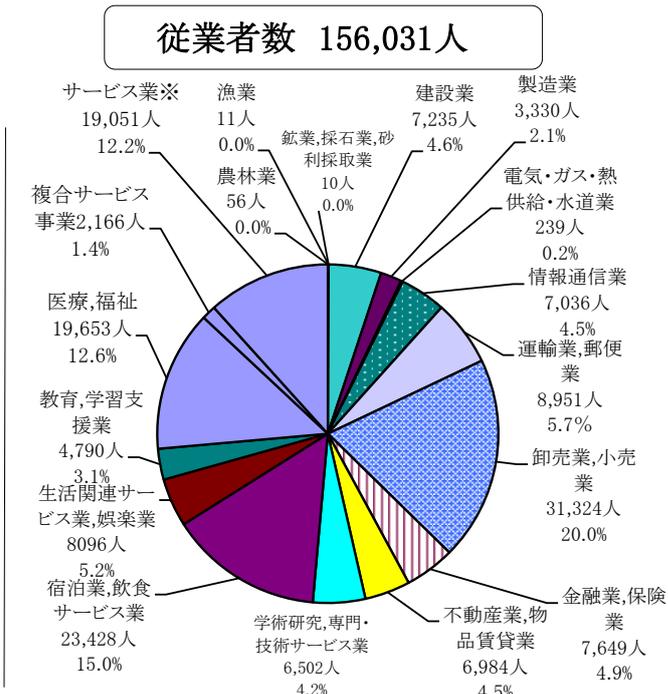
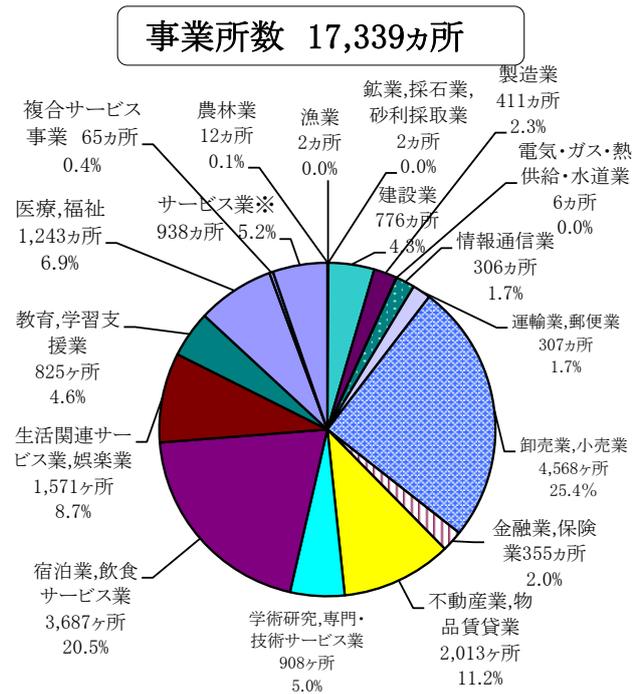


【気象】(令和2年)

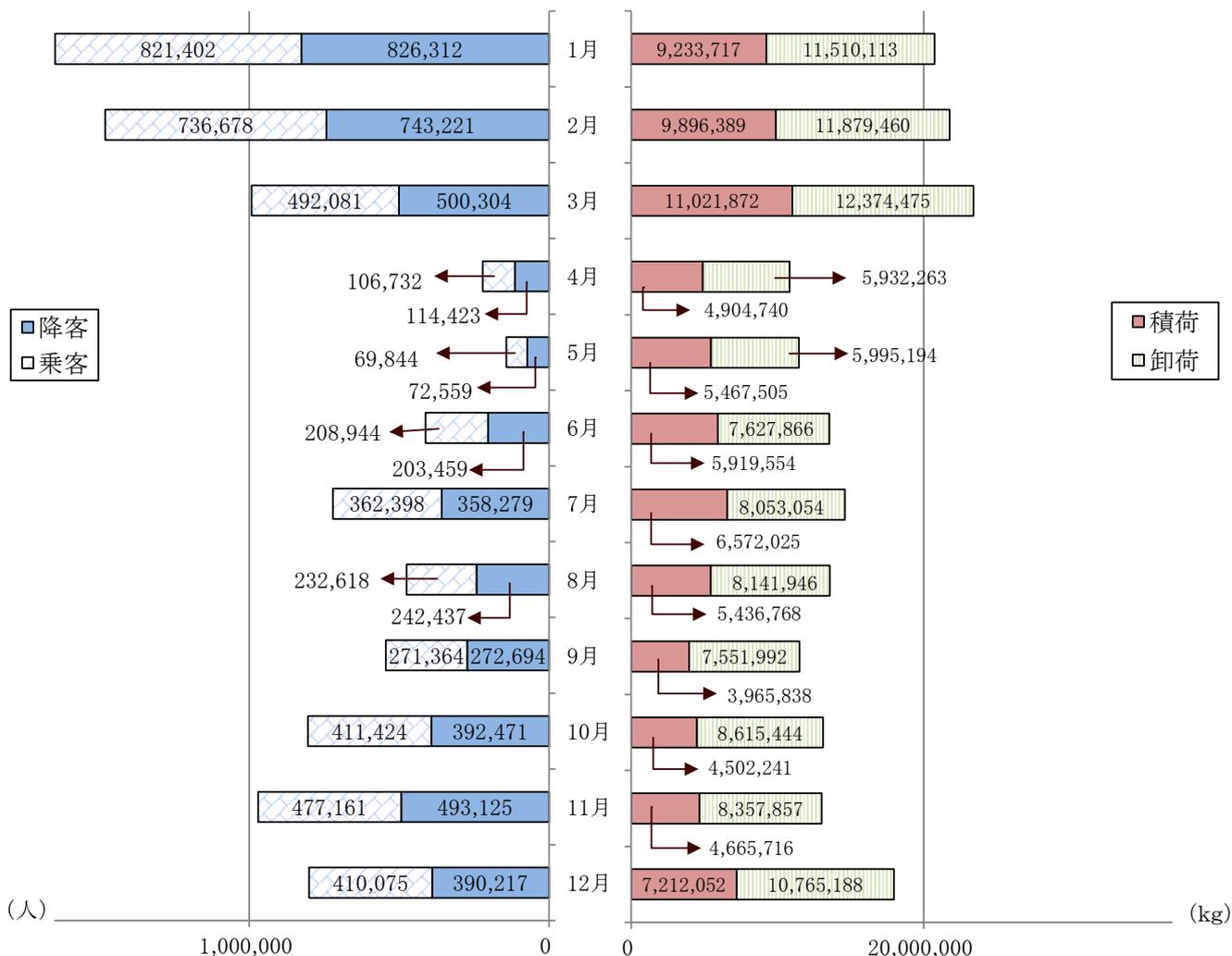


# 【経済センサス-活動調査】(平成28年6月1日現在)

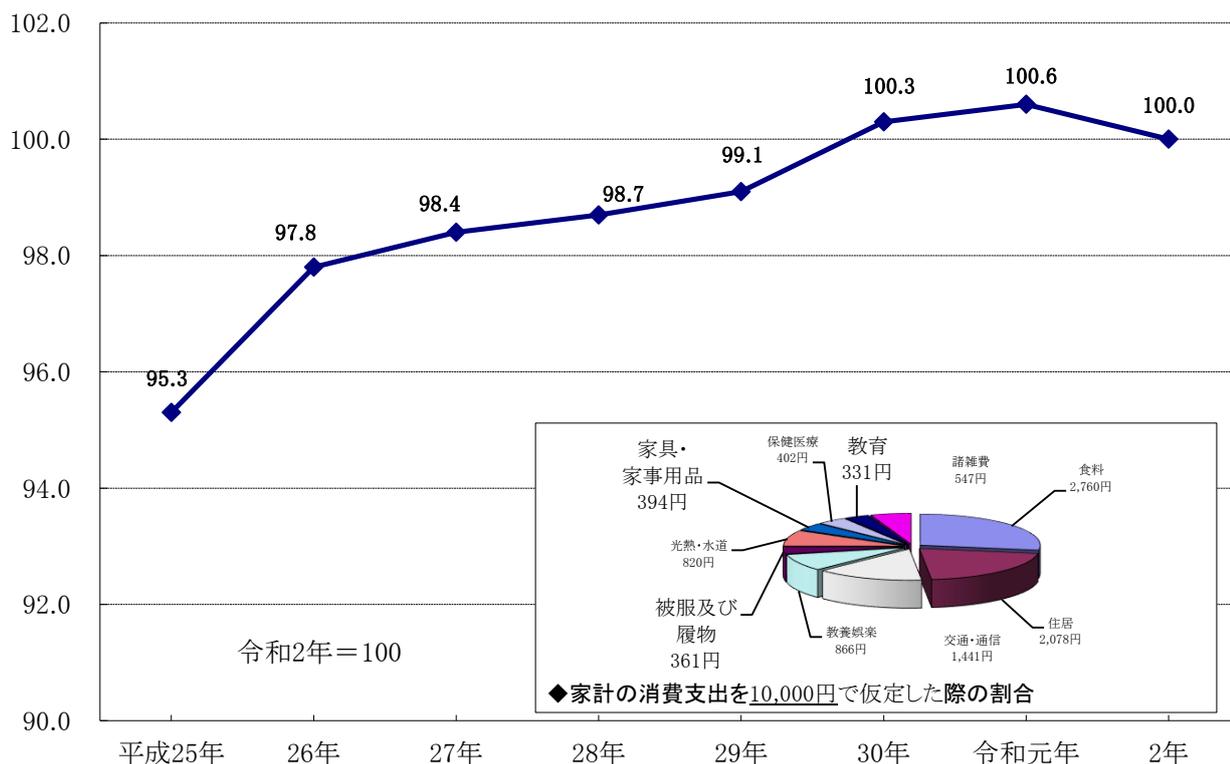
※サービス業は他に分類されないものである。



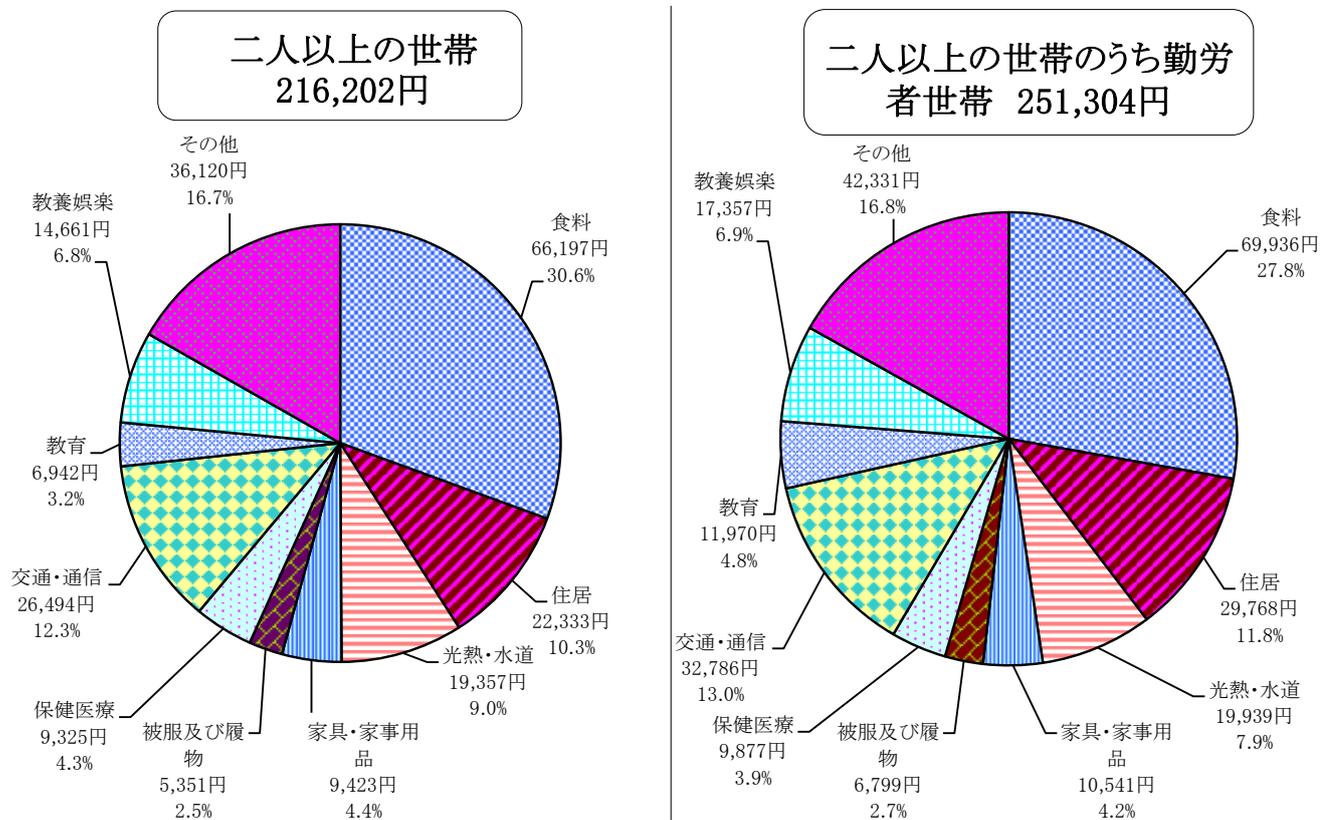
## 【那覇空港の旅客数と貨物量】(令和2年)



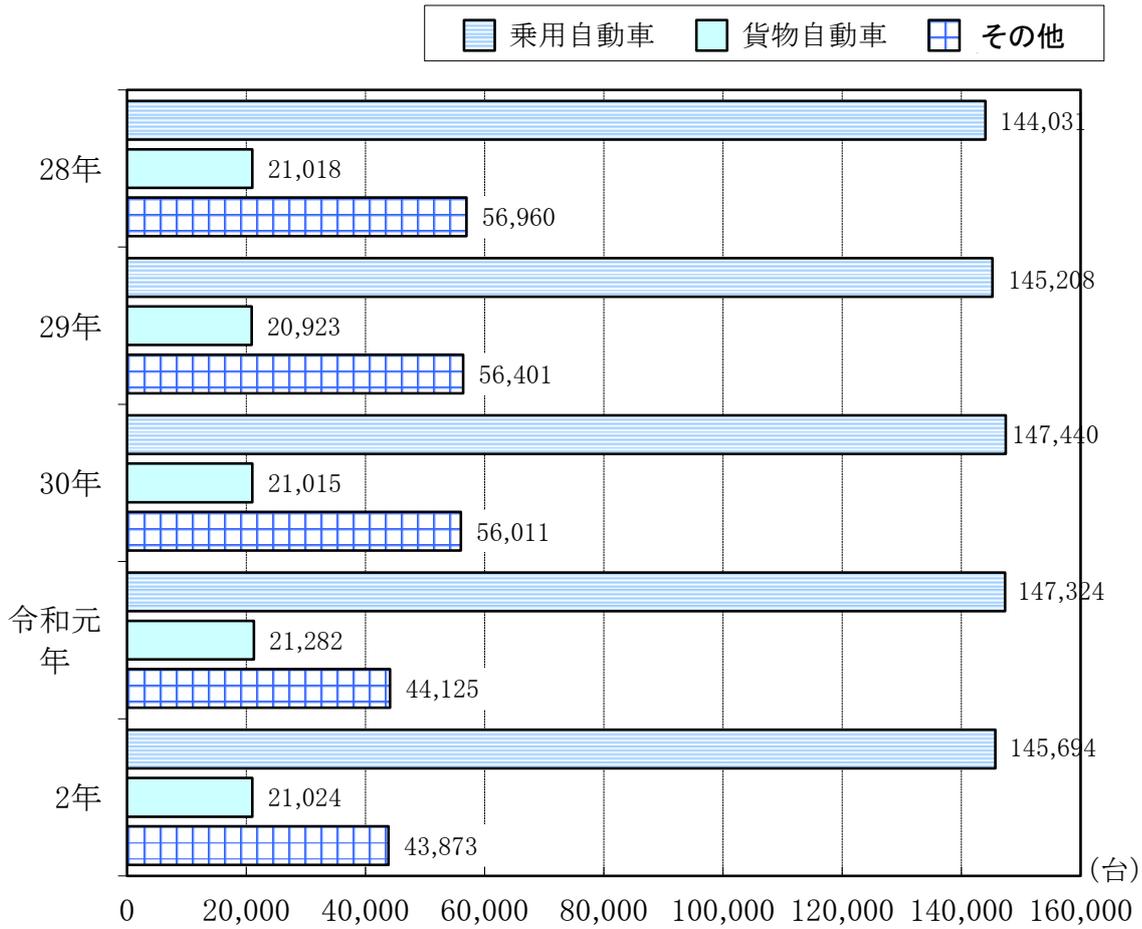
## 【消費者物価指数】



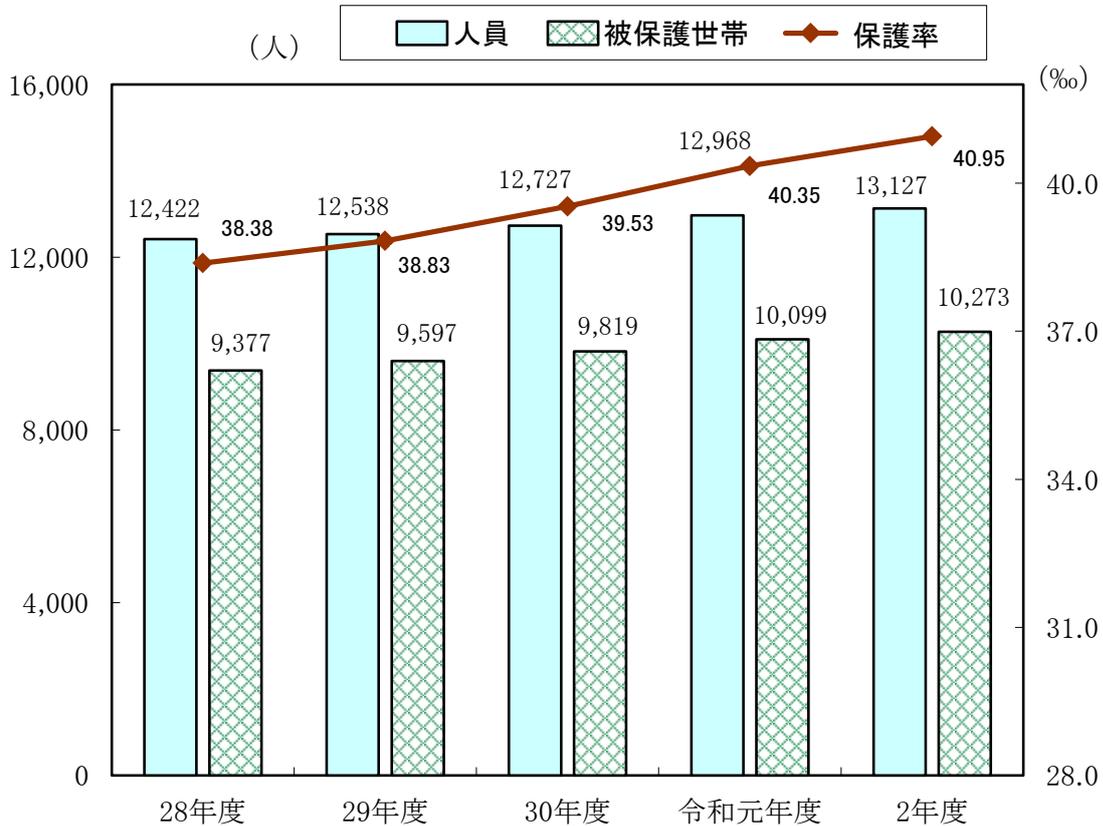
## 【1世帯あたり1ヶ月間の消費支出割合】(令和2年平均)農林漁家世帯を含む



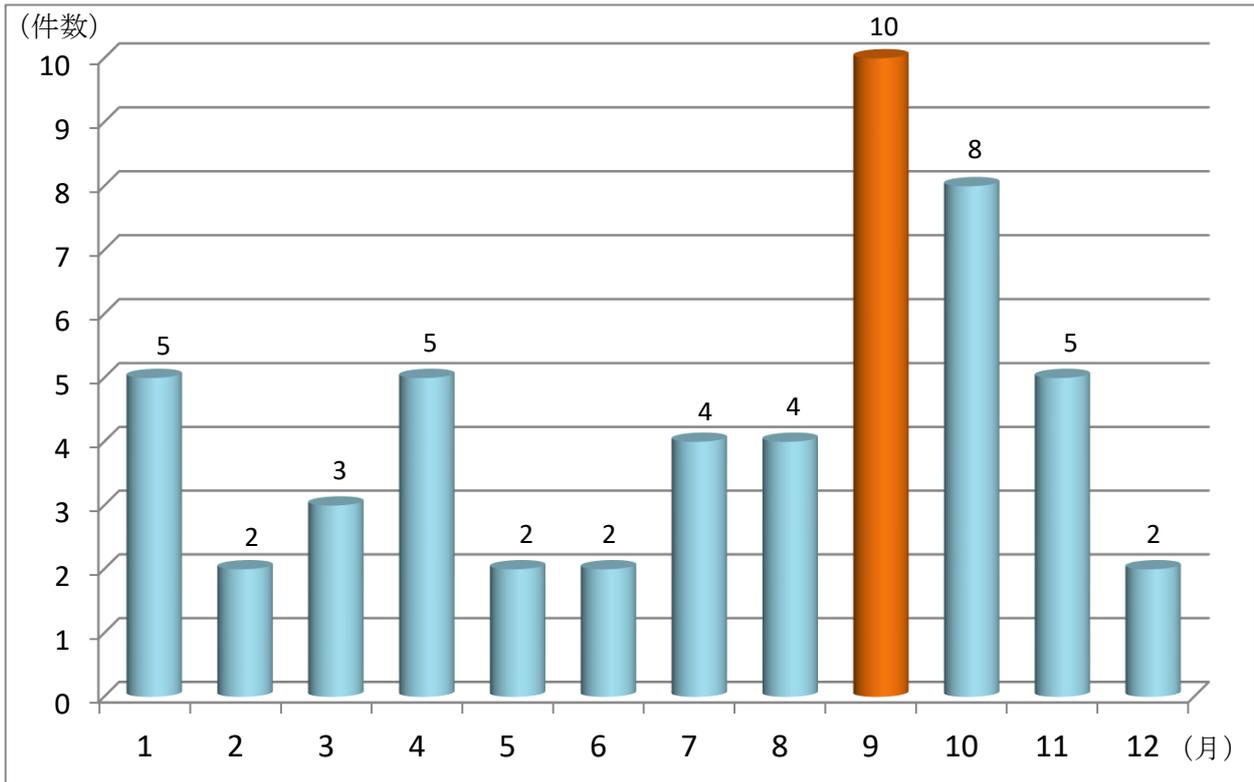
## 【自動車保有台数】



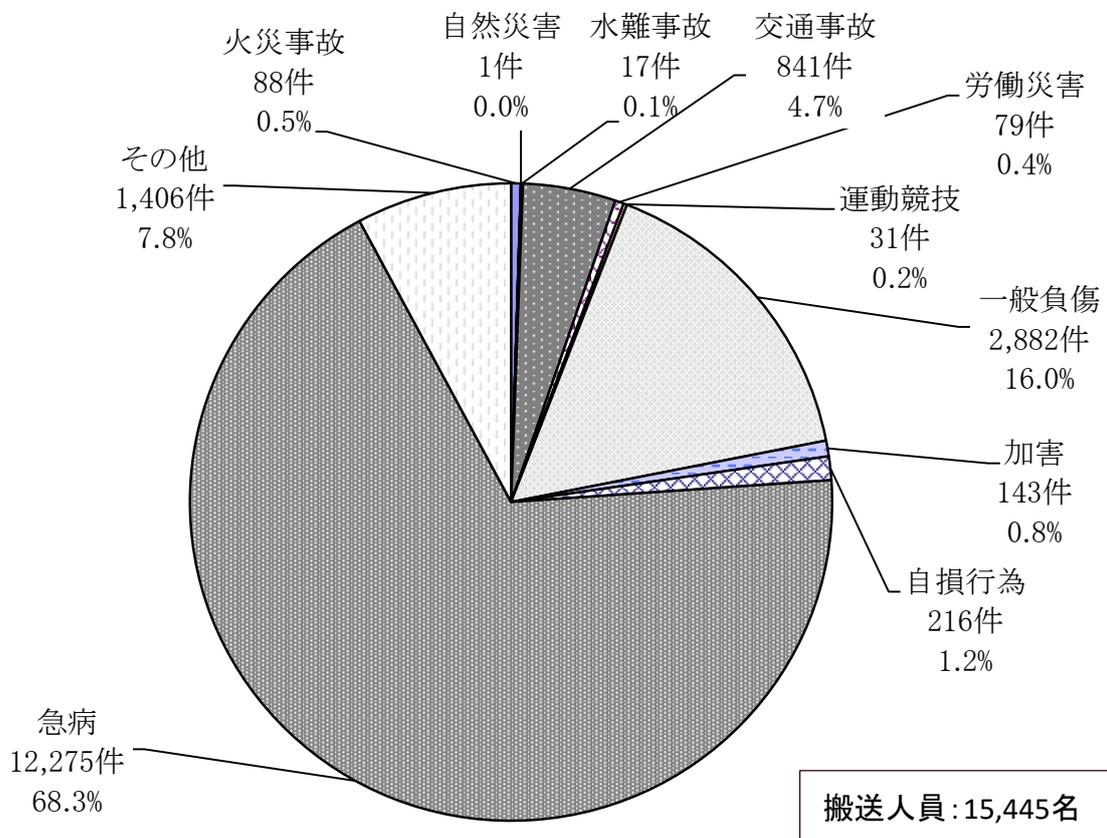
## 【生活保護の状況】



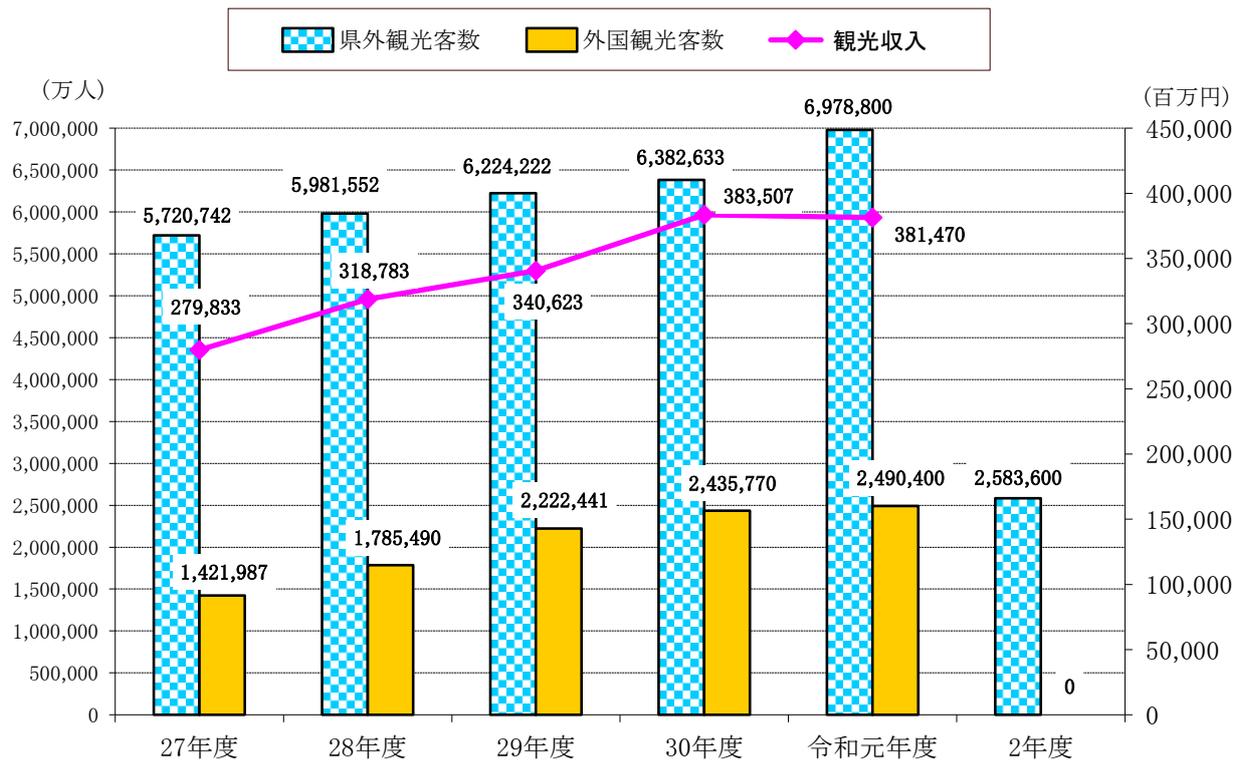
【月別火災件数】(令和2年 52件)



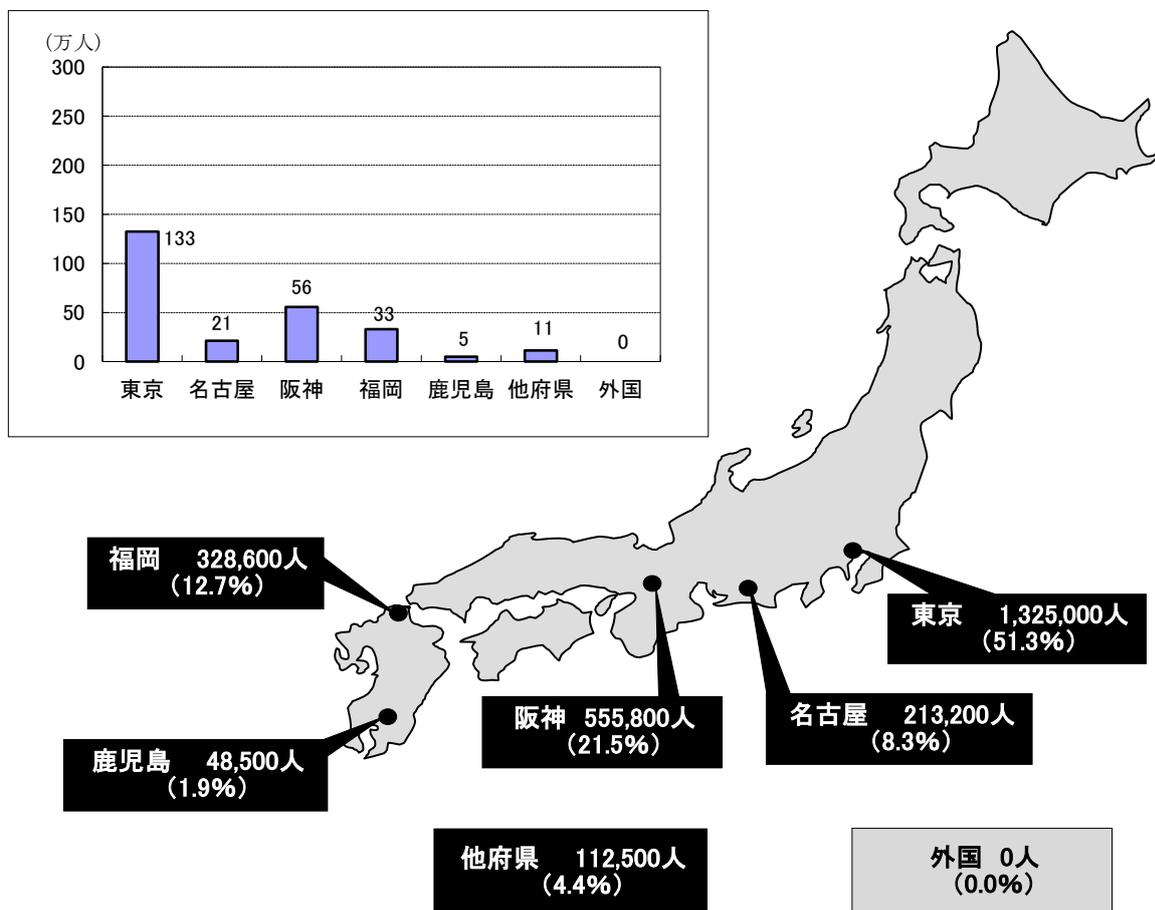
【救急活動状況】(令和2年 17,979件)



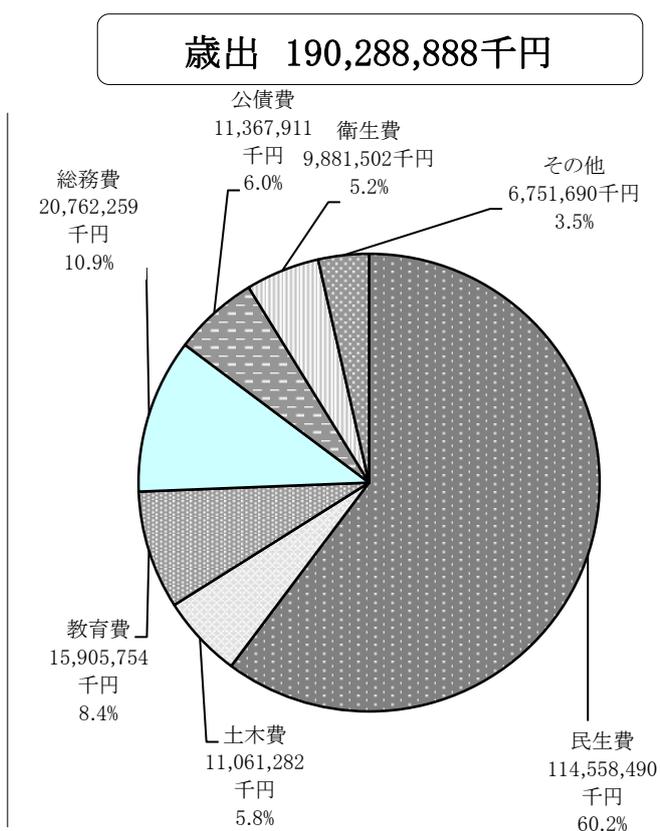
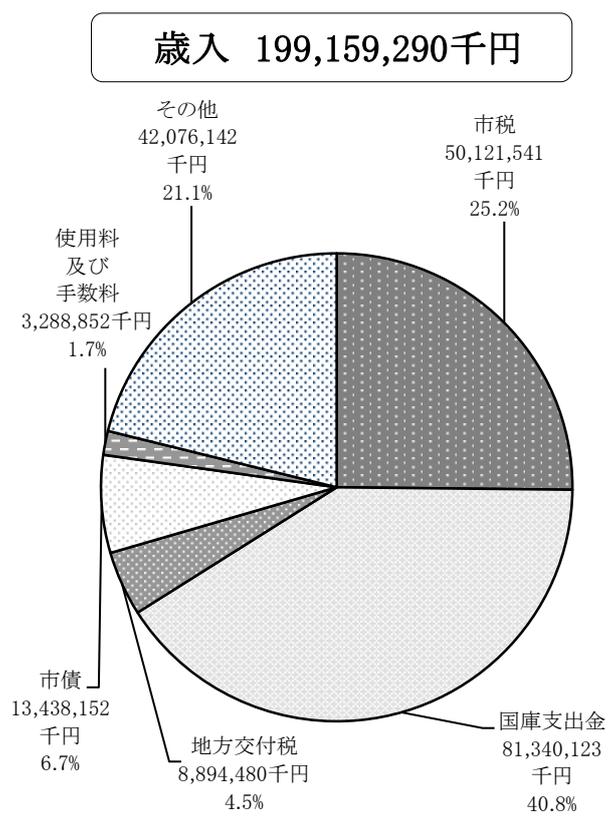
【入城観光客数及び観光収入の推移】※令和2年度の観光収入については未集計



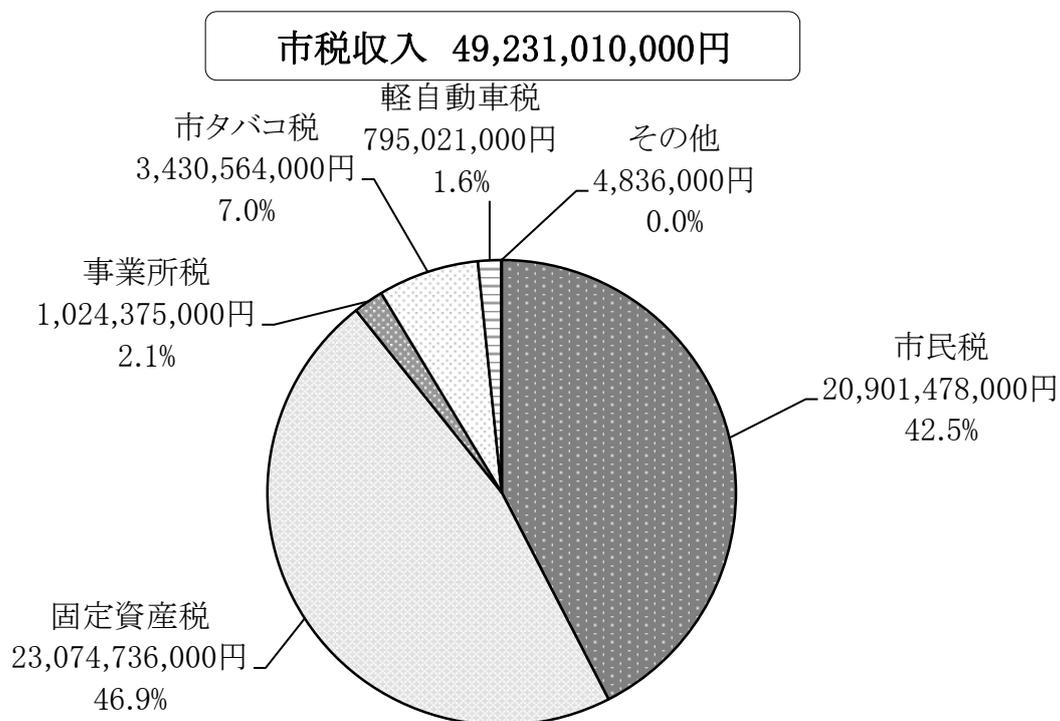
【航路別県外観光客数の構成比】(令和2年度 観光客総数 2,583,600人)



【一般会計】(令和2年度)

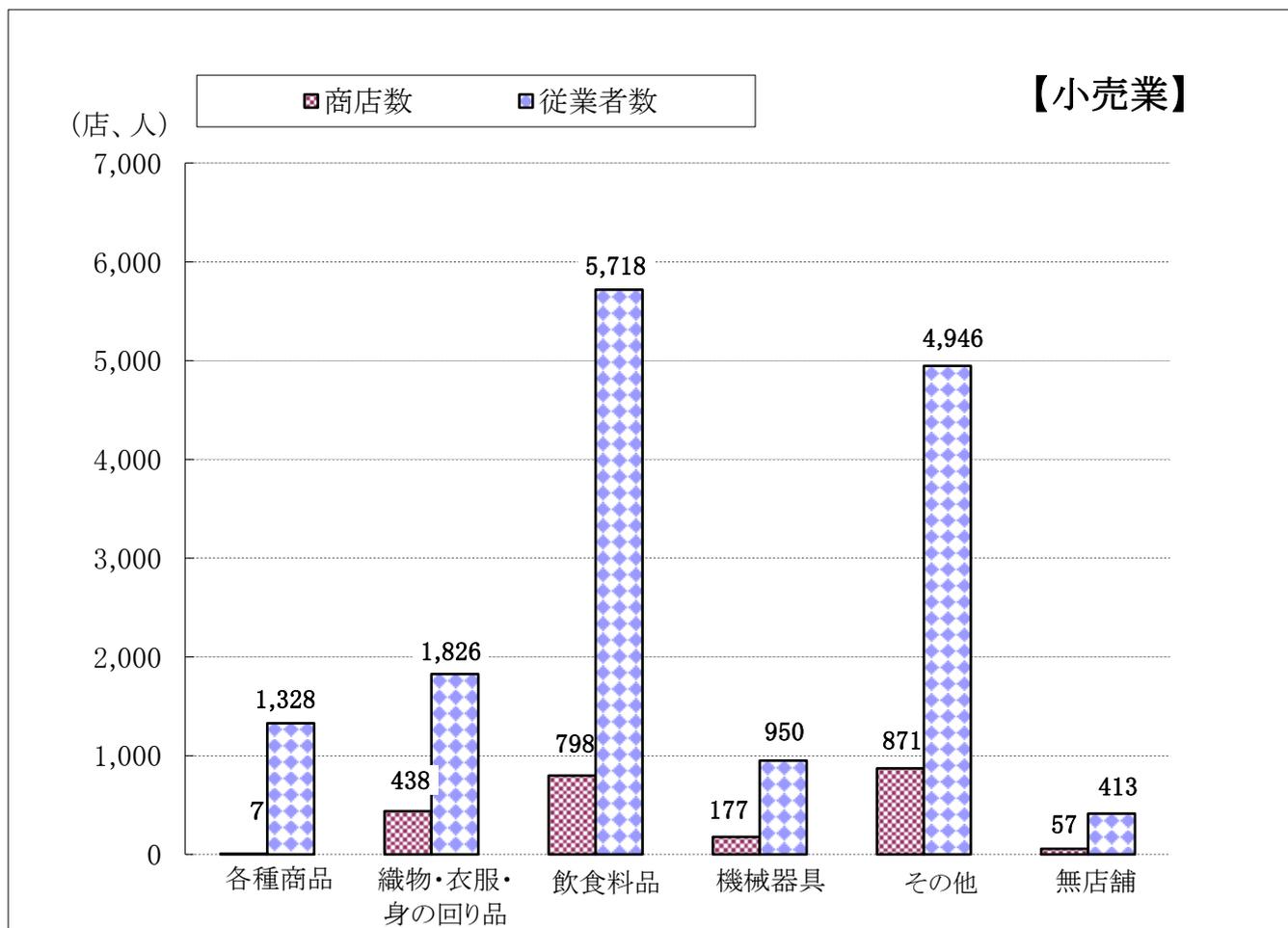
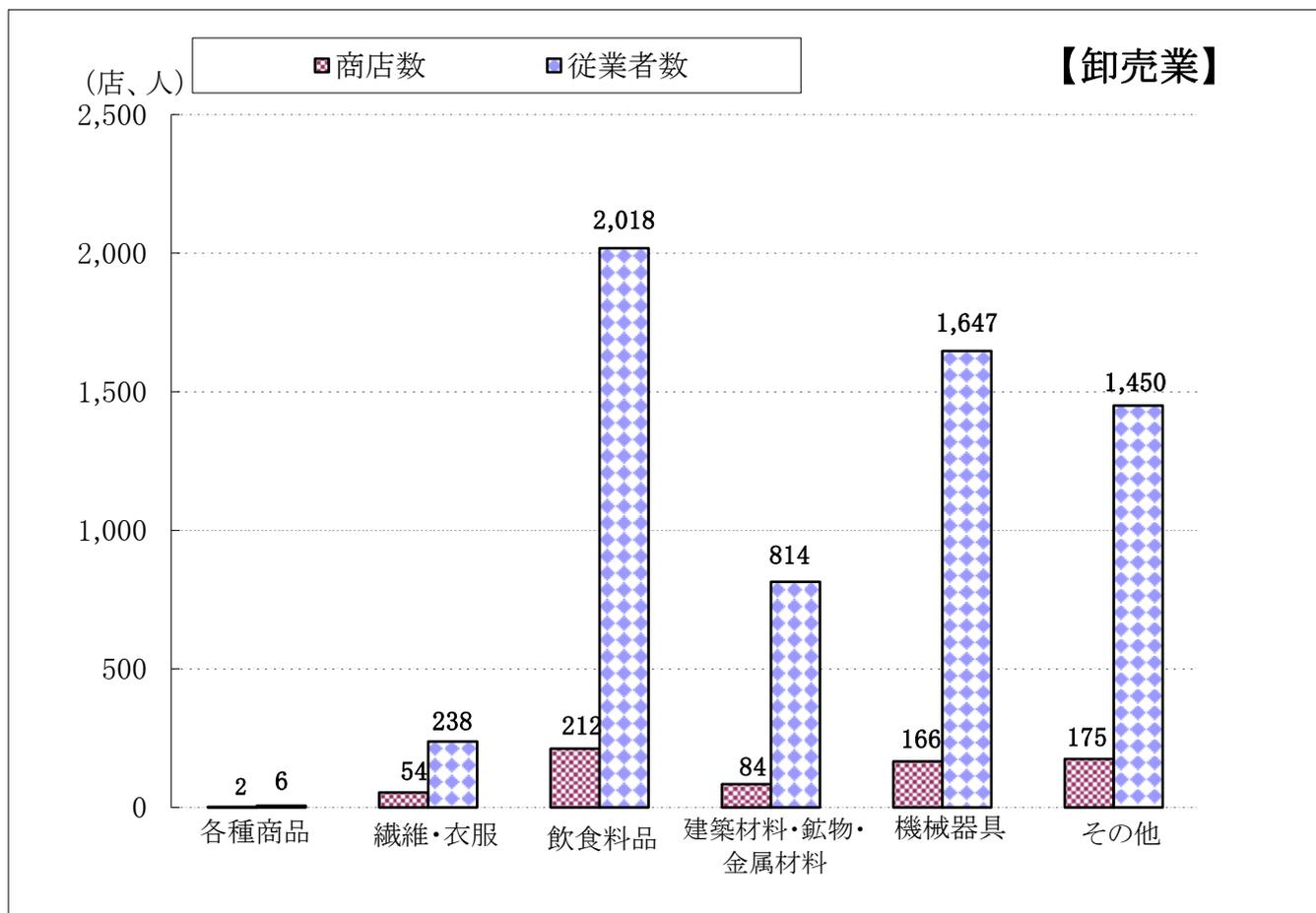


【市税収入状況】(令和2年度)



【産業中分類別商店数・従業者数】

(平成26年7月1日現在)





### 市民憲章

私たちは那覇市民であることに誇りを持ち、  
みんなで明るく住みよいまちをつくるため、  
すすんでつぎのことをまもりましょう。

- 1 私たちはまちを美しくしましょう
- 1 私たちは公共物を大切にしましょう
- 1 私たちは時間を守りましょう
- 1 私たちは交通道徳を重んじましょう
- 1 私たちは誰にも親切にしましょう

2023 市勢要覧  
(発行 2023年3月)